

令和 7 年度

決 算 説 明 資 料

秋 田 県 仙 北 市

主要な施策の成果を説明する書類

1 総括

令和7年度の市財政は、歳入面では、庁舎整備事業費に係る合併特例債の増、財源不足によるふるさと仙北応援基金からの繰入金の増、令和7年度再算定による給与改定費等基準財政需要額の増加による普通交付税の増、除排雪経費の増加等に伴う特別交付税の増となっています。歳出面では、庁舎整備事業費の増、除雪に係る機械整備事業の増、令和7年8月20日からの大雨災害に係る災害復旧事業費の増、また、性質別決算構成比では補助費等及び積立金が高水準で推移していることにより財源不足が見込まれました。

国では、経済財政運営と改革の基本方針2024において、「豊かさを実感できる所得増加及び賃上げ定着」、「地方創生及び地域における社会課題への対応」、「幸せを実感できる包摂社会の実現」を掲げるとともに、財政健全化の目標に取り組むこととしています。

このような状況を踏まえ、令和7年度の市財政運営に当たっては、市民の安心・安全な生活を守りつつ地域発展施策を展開するために有利な地方債や国県補助金等を最大限活用し、より効率的な市政運営と安定的な行政サービスの提供に努めました。

本年度の事業の概要及び効果等については、次の主要施策実績表のとおりです。

2 一般会計の決算状況

(1) 令和7年度の一般会計決算は「第1表」のとおりです。

一般会計の決算額は、歳入総額292億1,854万8千円、対前年度比32億9,901万9千円増(12.7%増)、歳出総額288億2,756万9千円、対前年度比35億8,330万5千円増(14.2%増)で、歳入歳出差引額は3億9,097万9千円の黒字となっています。

歳入歳出差引額のうち翌年度に繰り越すべき財源は2億3,258万4千円(繰越明許費繰越額2億3,258万4千円)で、実質収支額は1億5,839万5千円の黒字となっています。

(2) 歳入決算額の状況は「第2表」のとおりです。

歳入項目別決算構成比では、地方交付税が32.7%(決算額95億6,336万5千円)と最も高く、次いで寄附金の

13.6%（決算額 39 億 7,723 万円）、繰入金の 12.4%（決算額 36 億 657 万 6 千円）、市債の 10.5%（決算額 30 億 5,480 万 6 千円）、市税の 9.8%（決算額 28 億 7,366 万 4 千円）、国庫支出金の 7.4%（決算額 21 億 5,608 万 8 千円）、県支出金の 4.2%（決算額 12 億 2,044 万 2 千円）の順となっています。

前年度比較増減額では、地方債が庁舎整備事業費に係る合併特例債の増等により 17 億 8,977 万 3 千円（141.5%）増加したほか、繰入金がふるさと仙北応援基金繰入金の増等により 4 億 5,659 万円（14.5%）の増、地方交付税が令和 7 年度再算定による給与改定費等基準財政需要額の増加による普通交付税の増及び除排雪経費の増加等に伴う特別交付税の増により 4 億 4,347 万 2 千円（4.9%）増加しています。一方で、地方特例交付金が令和 6 年度税制改正に伴う定額減税減収補てん特例交付金の皆減等により 8,517 万 6 千円（87.4%）の減となりました。

(3) 市税の徴収実績の状況は、「第 3 表」のとおりです。

市税の徴収率は現年課税分 99.2%、滞納繰越分 10.7%、合計 96.5%となっており、前年度徴収率の 95.6%を 0.9 ポイント上回っています。

(4) 歳出決算額の目的別状況は、「第 4 表」のとおりです。

目的別の歳出項目別決算構成比では、総務費の 37.7%（決算額 108 億 6,697 万 3 千円）、民生費の 18.7%（決算額 53 億 9,652 万 3 千円）、衛生費の 10%（決算額 28 億 9,211 万 5 千円）、土木費の 8.7%（決算額 25 億 905 万 9 千円）の順となっています。

前年度比較増減では、総務費が庁舎整備事業費の増等により 24 億 6,596 万 6 千円（29.4%）の増、土木費が除雪に係る機械整備事業の増等により 3 億 7,636 万 3 千円（17.6%）の増、災害復旧費が令和 7 年 8 月 20 日からの大雨災害に係る災害復旧事業費の増等により 2 億 2,687 万 8 千円（195.1%）の増となっています。

一方、消防費が防災行政情報伝達システム戸別受信機に係る事業費の減等により 2,976 万 4 千円（3.4%）の減、議会費が議会会議録マイクロフィルムコンバート業務委託の減等により 728 万 8 千円（4.6%）の減となっています。

(5) 歳出決算額の性質別状況は、「第 5 表」のとおりです。

性質別の歳出項目別決算構成比では、補助費等の 19.1%（決算額 55 億 1,432 万 5 千円）、積立金の 16%（決算額 46 億 1,118 万 4 千円）、人件費の 12.7%（決算額 36 億 5,300 万円）、物件費の 11.4%（決算額 32 億 7,270 万 5 千

円)、扶助費の8.9%(決算額25億7,917万円)の順となっています。

対前年度比較増減額では、普通建設事業費が庁舎整備事業費の増等により18億2,397万7千円(128.2%)の増、積立金が財政調整基金積立金及びふるさと仙北応援寄附金収入の増加に伴うふるさと応援基金積立金の増等により8億4,883万9千円(22.6%)の増、物件費が仙北市生活応援商品券事業費及び公共施設等マネジメント事業費の増等により3億2,389万円(11%)の増、災害復旧事業費が令和7年8月大雨災害に係る復旧事業費の増等により2億6,111万1千円(221.2%)の増となりました。

一方、補助費等が下水道事業会計補助金の減等により3億4,501万1千円(5.9%)の減となっています。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、庁舎整備事業費に係る合併特例債の増等による地方債の増、ふるさと仙北応援基金繰入金の増等による繰入金の増等により分母全体が増加したことで、前年度の97.4%を2.3ポイント下回る95.1%となりました。

(6) 市債の目的別現在高の状況は、「第6表」のとおりです。

令和6年度末の市債の現在高は208億8,609万2千円で、令和7年度中の市債借入額は30億5,480万6千円、同年度中の元金償還額は20億8,624万円、差引現在高(令和7年度末)は218億5,465万8千円となり、年度末現在高は前年度に比べ9億6,856万6千円増加しています。

3 特別会計決算の状況

(1) 令和7年度の特別会計決算は「第7表」のとおりです。

① 集中管理特別会計の決算状況は、歳入歳出とも43億100万3千円(前年度比4.2%増)となっています。

② 国民健康保険特別会計の事業勘定の決算状況は、歳入総額25億8,425万1千円(前年度比2.1%減)に対し、歳出総額は24億6,474万7千円(前年度比4.2%減)で、歳入歳出差引額は1億1,950万4千円の黒字となっています。また、歳入歳出差引額のうち翌年度に繰り越すべき財源は40万円(繰越明許費繰越額)で、実質収支額は1億1,910万4千円の黒字となっています。

国民健康保険税の収入状況は、「第3表」のとおりで、徴収率は現年課税分96.6%、滞納繰越分16.9%、合計で

89.5%となっており、前年度徴収率の87.4%を2.1ポイント上回っています。

- ③ 神代診療施設勘定の決算状況は、歳入総額6,907万9千円（前年度比5.5%減）に対し、歳出総額は6,336万2千円（前年度比13.3%減）で、歳入歳出差引額は571万7千円の黒字となっています。また、歳入歳出差引額のうち翌年度に繰り越すべき財源は565万4千円（繰越明許費繰越額）で、実質収支額は6万3千円の黒字となっています。
- ④ 後期高齢者医療特別会計の決算状況は、歳入総額4億2,630万7千円（前年度比10.2%増）に対し、歳出総額は4億2,620万円（前年度比10.2%増）で、歳入歳出差引額は10万7千円の黒字となっています。
- ⑤ 介護保険特別会計の決算状況は、歳入総額5億739万5千円（前年度比8.2%増）に対し、歳出総額は5億733万7千円（前年度比8.3%増）で、歳入歳出差引額は5万8千円の黒字となっています。
- ⑥ 生保内財産区特別会計の決算状況は、歳入総額9,329万8千円（前年度比0.3%増）に対し、歳出総額は6,498万5千円（前年度比1.6%減）で、歳入歳出差引額は2,831万3千円の黒字となっています。
- ⑦ 田沢財産区特別会計の決算状況は、歳入総額2,915万6千円（前年度比13.1%減）に対し、歳出総額は2,195万3千円（前年度比16.6%減）で、歳入歳出差引額は、720万3千円の黒字となっています。
- ⑧ 雲沢財産区特別会計の決算状況は、歳入総額784万6千円（前年度比14.5%増）に対し、歳出総額は631万2千円（前年度比1.5%減）で、歳入歳出差引額は153万4千円の黒字となっています。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額
				継続費繰越額	繰越明許費繰越額	事故繰越額	計	
令和7年度	29,218,548	28,827,569	390,979	0	232,584	0	232,584	158,395
令和6年度	25,919,529	25,244,264	675,265	1,808	49,927	0	51,735	623,530
増減額	3,299,019	3,583,305	△ 284,286	△ 1,808	182,657	0	180,849	△ 465,135

第2表 一般会計歳入決算額の状況

(単位：千円・%)

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和7年度	令和6年度	増 減 額	令和7年度	令和6年度	
市 税	2,873,664	2,684,914	188,750	9.8	10.4	7.0
地 方 譲 与 税	325,031	317,742	7,289	1.1	1.2	2.3
利 子 割 交 付 金	3,627	672	2,955	0.0	0.0	439.7
配 当 割 交 付 金	8,318	8,233	85	0.0	0.0	1.0
株式等譲渡所得割交付金	14,925	12,760	2,165	0.1	0.0	17.0
法 人 事 業 税 交 付 金	41,353	45,873	△ 4,520	0.1	0.2	△ 9.9
地方消費税交付金	702,083	650,129	51,954	2.4	2.5	8.0
環境性能割交付金	16,571	17,411	△ 840	0.1	0.1	△ 4.8
地方特例交付金	12,257	97,433	△ 85,176	0.0	0.4	△ 87.4
地 方 交 付 税	9,563,365	9,119,893	443,472	32.7	35.2	4.9
交通安全対策特別交付金	2,747	2,706	41	0.0	0.0	1.5
分担金及び負担金	9,652	10,881	△ 1,229	0.0	0.0	△ 11.3
使用料及び手数料	241,505	246,207	△ 4,702	0.8	0.9	△ 1.9
国 庫 支 出 金	2,156,088	2,130,427	25,661	7.4	8.2	1.2
県 支 出 金	1,220,442	1,080,503	139,939	4.2	4.2	13.0
財 産 収 入	40,151	35,038	5,113	0.1	0.1	14.6
寄 附 金	3,977,230	3,893,394	83,836	13.6	15.0	2.2
繰 入 金	3,606,576	3,149,986	456,590	12.4	12.2	14.5
繰 越 金	363,500	280,740	82,760	1.3	1.1	29.5
諸 収 入	984,657	869,554	115,103	3.4	3.4	13.2
市 債	3,054,806	1,265,033	1,789,773	10.5	4.9	141.5
合 計	29,218,548	25,919,529	3,299,019	100.0	100.0	12.7

第3表 市税の徴収実績の状況

(単位：千円・%)

税目別 区 分	調定済額			収入済額			徴 収 率			
	現年課税分 A	滞納繰越分 B	合 計 A + B = C	現年課税分 D	滞納繰越分 E	合 計 D + E = F	現 年 課税分 D/A	滞 納 繰越分 E/B	合 計 F/C	前年度に おける 徴収率
(1) 市 民 税	986,335	13,385	999,720	979,071	1,454	980,525	99.3	10.9	98.1	98.2
ア 個 人	858,891	11,848	870,739	852,107	1,304	853,411	99.2	11.0	98.0	98.1
イ 法 人	127,444	1,537	128,981	126,964	150	127,114	99.6	9.8	98.6	98.5
(2) 固 定 資 産 税	1,517,388	75,542	1,592,930	1,501,556	7,903	1,509,459	99.0	10.5	94.8	93.3
ア 純固定資産税	1,348,735	75,542	1,424,277	1,332,903	7,903	1,340,806	98.8	10.5	94.1	92.5
イ 交 付 金	168,653	0	168,653	168,653	0	168,653	100.0	0.0	100.0	100.0
(3) 軽 自 動 車 税	106,043	1,631	107,674	105,320	321	105,641	99.3	19.7	98.1	98.1
(4) 市 た ば こ 税	171,373	0	171,373	171,373	0	171,373	100.0	0.0	100.0	100.0
(5) 入 湯 税	106,666	0	106,666	106,666	0	106,666	100.0	0.0	100.0	100.0
合 計	2,887,805	90,558	2,978,363	2,863,986	9,678	2,873,664	99.2	10.7	96.5	95.6
国民健康保険税	384,103	37,532	421,635	371,114	6,358	377,472	96.6	16.9	89.5	87.4

第4表 一般会計歳出決算額（目的別）の状況

（単位：千円・％）

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和7年度	令和6年度	増 減 額	令和7年度	令和6年度	
議 会 費	150,412	157,700	△ 7,288	0.5	0.6	△ 4.6
総 務 費	10,866,973	8,401,007	2,465,966	37.7	33.3	29.4
民 生 費	5,396,523	5,255,054	141,469	18.7	20.8	2.7
衛 生 費	2,892,115	2,783,640	108,475	10.0	11.0	3.9
労 働 費	75,576	74,256	1,320	0.3	0.3	1.8
農 林 水 産 業 費	1,088,665	896,973	191,692	3.8	3.6	21.4
商 工 費	845,424	853,524	△ 8,100	2.9	3.4	△ 0.9
土 木 費	2,509,059	2,132,696	376,363	8.7	8.4	17.6
消 防 費	854,178	883,942	△ 29,764	3.0	3.5	△ 3.4
教 育 費	1,622,668	1,606,368	16,300	5.6	6.4	1.0
災 害 復 旧 費	343,169	116,291	226,878	1.2	0.5	195.1
公 債 費	2,182,807	2,082,813	99,994	7.6	8.2	4.8
合 計	28,827,569	25,244,264	3,583,305	100.0	100.0	14.2

第5表 一般会計歳出決算額（性質別）の状況

（単位：千円・％）

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和7年度	令和6年度	増 減 額	令和7年度	令和6年度	
人 件 費	3,653,000	3,571,068	81,932	12.7	14.1	2.3
うち職員給	2,126,793	2,084,847	41,946	7.4	8.3	2.0
物 件 費	3,272,705	2,948,815	323,890	11.4	11.7	11.0
維持補修費	905,189	757,136	148,053	3.1	3.0	19.6
扶 助 費	2,579,170	2,557,083	22,087	8.9	10.1	0.9
補助費等	5,514,325	5,859,336	△ 345,011	19.1	23.2	△ 5.9
普通建設事業費	3,247,179	1,423,202	1,823,977	11.3	5.6	128.2
補助事業費	850,562	492,536	358,026	3.0	1.9	72.7
単独事業費	2,117,041	729,388	1,387,653	7.3	2.9	190.2
国直轄事業負担金	141,050	0	141,050	0.5	0.0	0.0
県営事業負担金	126,166	201,278	△ 75,112	0.4	0.8	△ 37.3
受託事業費	12,360	0	12,360	0.0	0.0	0.0
災害復旧事業費	379,140	118,029	261,111	1.3	0.5	221.2
補助事業費	201,467	53,881	147,586	0.7	0.2	273.9
単独事業費	177,673	64,148	113,525	0.6	0.3	177.0
公 債 費	2,182,807	2,082,813	99,994	7.6	8.3	4.8
積 立 金	4,611,184	3,762,345	848,839	16.0	14.9	22.6
投資及び出資金	627,388	359,086	268,302	2.2	1.4	74.7
貸 付 金	351,200	351,600	△ 400	1.2	1.4	△ 0.1
繰 出 金	1,504,282	1,453,751	50,531	5.2	5.8	3.5
合 計	28,827,569	25,244,264	3,583,305	100.0	100.0	14.2

第6表 一般会計市債の目的別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和6年度末 現在高 A	令和7年度末 発行高 B	令和7年度中元利償還額			差引現在高 A+B-C D	Dの借入先別内訳	
			元金 C	利子	計		政府資金	その他
1 総 務 債	3,240,034	1,699,600	137,741	11,366	149,107	4,801,893	0	4,801,893
2 民 生 債	379,340	14,700	17,395	2,773	20,168	376,645	0	376,645
3 衛 生 債	919,629	49,900	44,659	5,130	49,789	924,870	837,833	87,037
4 農 林 水 産 業 債	975,566	218,200	55,678	5,113	60,791	1,138,088	1,015,069	123,019
5 商 工 債	59,680	0	4,675	433	5,108	55,005	14,339	40,666
6 土 木 債	1,561,973	186,906	184,585	7,041	191,626	1,564,294	14,433	1,549,861
7 消 防 債	1,132,018	48,300	78,395	6,112	84,507	1,101,923	600	1,101,323
8 教 育 債	2,207,732	0	193,659	20,068	213,727	2,014,073	110,208	1,903,865
9 公 営 住 宅 債	39,923	0	13,436	592	14,028	26,487	26,487	0
10 辺 地 対 策 債	563,264	17,800	86,871	458	87,329	494,193	494,193	0
11 過 疎 対 策 債	4,327,998	613,800	488,673	19,369	508,042	4,453,125	4,007,463	445,662
12 災 害 復 旧 債	191,811	205,600	28,106	848	28,954	369,305	368,090	1,215
13 転 貸 債	222,692	0	99,530	827	100,357	123,162	0	123,162
14 減 税 補 て ん 債	3,710	0	2,663	1	2,664	1,047	1,047	0
15 臨時財政対策債	4,968,555	0	644,586	15,605	660,191	4,323,969	3,601,621	722,348
16 減 収 補 て ん 債	33,233	0	1,979	12	1,991	31,254	0	31,254
17 特別減収対策債	58,934	0	3,609	157	3,766	55,325	0	55,325
合 計	20,886,092	3,054,806	2,086,240	95,905	2,182,145	21,854,658	10,491,383	11,363,275

第 7 表 特別会計決算収支の状況

(単位：千円・%)

区 分	歳 入 総 額				歳 出 総 額				歳入歳出 差引額 C (A-B)	繰越事業費 繰越財源 D	実質収支額 C-D
	令和 7 年度 A	令和 6 年度 B	増 減 額	増減率	令和 7 年度 A	令和 6 年度 B	増 減 額	増減率			
集 中 管 理 特 別 会 計	4,301,003	4,126,851	174,152	4.2	4,301,003	4,126,851	174,152	4.2	0	0	0
国民健康保険特別会計 (事 業 勘 定)	2,584,251	2,639,667	△ 55,416	△ 2.1	2,464,747	2,572,846	△ 108,099	△ 4.2	119,504	400	119,104
国民健康保険特別会計 (神代診療施設勘定)	69,079	73,100	△ 4,021	△ 5.5	63,362	73,044	△ 9,682	△ 13.3	5,717	5,654	63
後期高齢者医療特別会計	426,307	386,741	39,566	10.2	426,200	386,581	39,619	10.2	107	0	107
介 護 保 険 特 別 会 計	507,395	468,779	38,616	8.2	507,337	468,637	38,700	8.3	58	0	58
生保内財産区特別会計	93,298	93,016	282	0.3	64,985	66,075	△ 1,090	△ 1.6	28,313	0	28,313
田 沢 財 産 区 特 別 会 計	29,156	33,556	△ 4,400	△ 13.1	21,953	26,308	△ 4,355	△ 16.6	7,203	0	7,203
雲 沢 財 産 区 特 別 会 計	7,846	6,854	992	14.5	6,312	6,407	△ 95	△ 1.5	1,534	0	1,534

4 主要施策の実績

(1) 一般会計

2 款 総 務 費 1 項 総 務 管 理 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
11,346,507,395	10,384,784,625	360,477,000	601,245,770	○職員研修費 人材育成基本方針に則り、効果的・効率的な行政運営のため、職員の能力開発を図り、弾力的な組織体制づくりを目指す。	○職員研修費 6,136,149円 ・派遣研修旅費 4,516,843円 秋田県企画振興部市町村課 1人 秋田県産業労働部企業立地事務所 1人 秋田県後期高齢者医療広域連合 1人 東日本旅客鉄道株式会社秋田支社 1人 ・職員研修旅費 460,386円 新規採用職員研修（前期・後期） 16人 3年目職員研修 15人 秋田県市長会都市職員研修 8人 秋田県市長会行政視察研修 2人 能力開発研修 11人 東北自治研修所（管理・監督職）研修 3人 ・使用料及び賃借料 8,420円 東北自治研修所研修受講者に係る高速道路利用料金 ・報償費 1,095,000円 人材育成研修 コンプライアンス・ハラスメント防止研修 地域活性化に関する職員研修 ・負担金 55,500円 新入社員歓迎激励会負担金 11人 東北自治研修所（管理・監督職研修）負担金 2人 職員の能力を最大限に引き出し、発揮させるため、市長会等で実施する研修への参加のほか、市独自に階層別人材育成研修等外部から講師を招いて研修を実施するなどして、職員の能力向上を図った。
				○仙北市生活応援商品券事業費 燃料価格や物価高騰の影響を受けている市民の家計負担の軽減を図る。 【繰越明許】 令和6年12月13日現在で、仙北市に住居登録のある市民で、物価高騰対応重点支援給付金支給事業費を受給している世帯以外の市民に1人あたり4,000円の商品券を配布。 【現年】 令和8年2月1日現在で、仙北市に住居登録のある全市民に1人あたり15,000円の商品券を4月25日から配布。	○仙北市生活応援商品券事業費 82,382,409円 【繰越明許】 ・業務委託料 仙北市生活応援商品券業務委託 74,234,309円 仙北市生活応援商品券発送及び封入封緘作業業務委託 5,282,760円 ・消耗品費 30,470円 【現年】 ・業務委託料 仙北市生活応援商品券業務委託 2,621,745円 ・印刷製本費 213,125円 市民の家計負担軽減及び地域内における消費喚起による事業者支援に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○市制20周年記念式典開催事業費 市制20周年にあたり、記念式典を開催し、市政の発展に寄与した方に表彰を行う。	○市制20周年記念式典開催事業費 2,018,485円 ・開催日 令和7年9月14日（日） ・場所 仙北市民会館 ・市制20周年記念功労者表彰並びに記念品贈呈 個人18名、11団体へ表彰。 市制20周年にあたり、御尽力いただいた方々への感謝と、受け継がれてきた歴史と文化を次世代に引き継いでいく契機となる1日になった。
				○法規管理費 仙北市例規集のデータベース、追録の更新など、例規整備に関するサポートを受けながら、管理徹底を図る。	○法規管理費 4,461,336円 ・仙北市例規集追録作成（例規集50部） 700,920円 ・例規集データベース更新業務 2,494,800円 ・例規支援システム利用料 1,265,616円 例規整備を的確に行うことができた。
				○広報等発行費 読みやすく充実した内容の広報づくりを目指し、定期的に読者に大切な情報をお知らせする。	○広報等発行費 12,480,666円 ・広報せんぼく等印刷費 5,950,010円 広報せんぼく印刷（フルカラー裏表、その他2色刷り・年12回×10,700部） 仙北市市制20周年誌印刷（フルカラー・12,100部） ・広報紙等配布事業補助金 5,784,000円 シルバー人材センターで市内全世帯に配布 令和7年度は、発行部数10,700部で、フルカラー裏表、その他2色刷りにより「広報せんぼく」を発行し、魅力的な写真を使用した表紙や、読みやすさに配慮した紙面づくりを行った。また、仙北市市制20周年記念事業として、市制20周年記念誌を発行した。配布については、シルバー人材センターにより、遅延なく的確に全戸配布を実施した。
				○行政連絡員費 地域と行政の橋渡し役として、行政連絡員を設置する。災害時や緊急時の情報伝達など、役割を限定して依頼する。	○行政連絡員費 1,836,113円 ・行政連絡員報酬 1,690,000円 5,000円×338人（一律5,000円） 災害発生時の地域内の連絡調整や日常の防災対策、地域の課題・要望、空き家情報の提供など、地域と行政との橋渡し役として業務を担っていただいた。
				○公式ウェブサイト管理費 仙北市の公式ウェブサイトの情報が定期的に更新され、正常で適正に稼働する状態にするため、保守業務を委託して行う。	○公式ウェブサイト管理費 646,800円 ・仙北市公式ウェブサイト保守業務委託 528,000円 ・公式ウェブサイト緊急情報改修業務委託 118,800円 年間を通じて公式ウェブサイトを正常かつ適正に稼働することができた。また、トップページのバナーなど最新の情報へ切り替えることにより、観光イベントなどの情報発信ができた。令和7年度は災害時の情報発信に迅速に対応できるよう、公式ホームページの緊急更新を総合防災課で行えるよう改修した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○地籍調査事業費 地籍調査（一筆地調査）を実施し、地籍簿、地籍図を作成する。	○地籍調査事業費 27,866,011円 【繰越明許】 26,573,258円 ・地籍調査（一筆地調査） 調査地 仙北市角館町下延 大前田、竹市、段添、西川原 ・地籍簿、地籍図の作成（令和6年度調査分） 調査地 仙北市角館町下延 荒処、大久保、竹市、竹市野、西川原 正確な地図や台帳をすることにより、災害などで境界が不明になっても容易に復元でき境界紛争等トラブル防止につながっている。また、財産の明確化に寄与した。
				○普通財産等管理費 市の普通財産を適正に管理する。	○普通財産等管理費 16,050,004円 ・調査測量・地積更正登記委託（横町21-2） 312,466円 ・グループホームかるむ角館田町給湯器等 572,000円 交換修繕 ・水沢ロマンスリフト通信ケーブル・ 13,640,000円 脱索検出装置更新工事 市有財産の良好な管理に寄与した。
				○庁舎整備事業費 庁舎の移転集約を行う。	○庁舎整備事業費 1,643,093,945円 ・田沢湖庁舎内部改修工事 77,058,300円 ・旧市立角館総合病院解体工事 507,047,475円 ・仙北市角館上野庁舎改修工事 961,835,600円 【通次繰越】 35,996,520円 ・旧市立角館総合病院解体工事 31,892,520円 旧市立角館総合病院の解体及び角館上野庁舎の改修工事を進めた。また、田沢湖庁舎内部改修工事をし、庁舎の移転集約に寄与した。
				○公共施設等マネジメント事業費 公共施設について適正に管理する。	○公共施設等マネジメント事業費 78,223,200円 ・仙北市旧中町庁舎等解体工事 31,337,900円 ・仙北市旧西木公民館等解体工事 43,261,900円 旧中町庁舎及び旧西木公民館の解体工事をし、公共施設の集約・削減に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																												
				計画	実績及び効果																																											
				○クニマス未来館管理運営費 田沢湖クニマス未来館の維持管理を行う。（平成29年7月1日開館）	○クニマス未来館管理運営費 19,372,950円 ・観覧料収入 4,058,500円 ・主な経費 会計年度任用職員報酬等（4人） 12,469,463円 燃料費、電気・水道・電話料 3,285,876円 施設保守点検業務等委託料 1,774,856円 【入館者数】（単位：人） <table><tr><td>4月</td><td>672</td><td>8月</td><td>2,250</td><td>12月</td><td>270</td></tr><tr><td>5月</td><td>1,328</td><td>9月</td><td>1,102</td><td>1月</td><td>185</td></tr><tr><td>6月</td><td>964</td><td>10月</td><td>1,282</td><td>2月</td><td>326</td></tr><tr><td>7月</td><td>1,147</td><td>11月</td><td>910</td><td>3月</td><td>565</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td>計</td><td>11,001</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td>前年度入館者数</td><td>10,540</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td>増</td><td>減</td><td>461</td></tr></table> 田沢湖固有種クニマスの発見を契機に田沢湖の歴史的背景から環境学習を進めると同時に、田沢湖クニマス未来館を良好に維持管理した。	4月	672	8月	2,250	12月	270	5月	1,328	9月	1,102	1月	185	6月	964	10月	1,282	2月	326	7月	1,147	11月	910	3月	565					計	11,001					前年度入館者数	10,540					増	減	461
				4月	672	8月	2,250	12月	270																																							
5月	1,328	9月	1,102	1月	185																																											
6月	964	10月	1,282	2月	326																																											
7月	1,147	11月	910	3月	565																																											
				計	11,001																																											
				前年度入館者数	10,540																																											
				増	減	461																																										
				○思い出の潟分校管理運営費 思い出の潟分校の維持管理を行う。（平成29年4月1日より市管理）	○思い出の潟分校管理運営費 6,482,911円 ・観覧料収入 3,674,260円 ・主な経費 会計年度任用職員報酬等（2人） 5,571,262円 燃料費、電気・水道・ガス・電話料 384,913円 施設保守点検業務等委託料 154,000円 【入館者数】（単位：人） <table><tr><td>4月</td><td>667</td><td>8月</td><td>1,427</td><td>12月</td><td>232</td></tr><tr><td>5月</td><td>1,988</td><td>9月</td><td>872</td><td>1月</td><td>147</td></tr><tr><td>6月</td><td>955</td><td>10月</td><td>850</td><td>2月</td><td>257</td></tr><tr><td>7月</td><td>983</td><td>11月</td><td>590</td><td>3月</td><td>449</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td>計</td><td>9,417</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td>前年度入館者数</td><td>9,143</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td>増</td><td>減</td><td>274</td></tr></table> 田沢湖畔の歴史文化の継承と観光拠点として活用し地域活性化に貢献すると同時に、思い出の潟分校を良好に維持管理した。	4月	667	8月	1,427	12月	232	5月	1,988	9月	872	1月	147	6月	955	10月	850	2月	257	7月	983	11月	590	3月	449					計	9,417					前年度入館者数	9,143					増	減	274
				4月	667	8月	1,427	12月	232																																							
5月	1,988	9月	872	1月	147																																											
6月	955	10月	850	2月	257																																											
7月	983	11月	590	3月	449																																											
				計	9,417																																											
				前年度入館者数	9,143																																											
				増	減	274																																										

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○総合行政情報システム管理費 基幹系・内部情報システムネットワーク・L G W A N等の運用および基幹系業務システム標準化に取り組む。	○総合行政情報システム管理費 330,390,168円 ・消耗品費(基幹系プリンタートナー等) 1,356,124円 ・修繕料(ノートP C) 293,370円 ・役務費(A W S利用料・保守用電話回線等) 35,181,038円 ・委託料 基幹系業務システム標準化対応業務委託 140,343,500円 基幹系システム保守業務委託 29,700,000円 財務会計等システム保守業務委託 8,104,800円 情報通信ネットワークシステム保守業務委託 7,700,000円 第五次L G W A N対応機器構成変更業務委託 3,190,000円 第五次L G W A N回線開設作業委託料 524,700円 その他業務委託 2,464,000円 ・使用料及び賃借料 基幹系業務システム使用料 29,307,960円 基幹系業務システムサーバ等機器賃借料 14,549,040円 パソコン・プリンタ等賃借 21,190,620円 庁内I P電話機器更改 8,085,000円 情報通信ネットワークサーバ等機器更新 4,158,528円 情報通信ネットワークV P N等機器更新 3,088,800円 情報通信ネットワーク田沢湖地区機器更新 2,937,000円 情報通信ネットワークコアスイッチ更新 2,904,000円 L G W A Nサーバ機器更改 2,302,080円 住基ネット機器更新 1,772,760円 L G W A N系資産管理システム用機器更改 1,407,120円 第五次L G W A N接続サービス 1,520,420円 財務会計システム機器賃借料 1,053,360円 その他使用料等 3,163,916円 ・工事請負費(山鳩館N W整備等) 38,500円 ・備品購入費 I N T系N A S 192,500円 インターネット用P C・プリンタ 231,220円 無停電装置 32,780円 基幹系P C・プリンタ・内部情報系P C 1,369,500円 基幹系N A S 98,780円 ・負担金 情報セキュリティクラウド運営経費負担金 1,352,952円 電子申請・届出サービス共同利用負担金 712,800円 地方公共団体情報システム機構負担金 63,000円 基幹系システムや一般事務用機器、ネットワークについて、制度改正や耐用年数経過、技術革新等に対応するため、保守委託、機器更改等を行い、事務の効率化や情報漏えいへのリスク対策、住民サービスの向上等を行った。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○地域カステップアップ事業費 地域の活性化や地域課題の解決に向け、自ら企画し実施するまちづくり事業を実施する市民団体等へ補助金を交付する。	○地域カステップアップ事業費 199,000円 ・協働によるまちづくり提案型補助金 交付実績 2件 199,000円 まちづくりに関するワークショップの開催や高齢者の交流と健康づくりに取り組む事業に補助し、地域の活性化に寄与した。
				○定住対策推進事業費 空き家バンクの利用促進や移住フェア等への参加、移住者向け情報パンフレットによる情報発信、ふるさとサポーターへの支援依頼、定住促進奨励金・移住応援事業助成金の交付による移住定住の推進を図る。	○定住対策推進事業費 1,729,758円 ・移住フェア等イベント参加旅費 82,620円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 149,688円 ・移住定住ガイドブック「おかえり」作成 114,400円 ・定住促進奨励金 交付実績 17件 1,014,050円 ・移住応援事業助成金 交付実績 3件 369,000円 空き家バンクへの新規空き家登録数〔1件〕、新規利用登録者数〔1件〕、賃貸・売買成約件数〔バンク内0件、バンク外1件〕があり、空き家の利活用を促進することができた。また、住宅取得後の固定資産税相当額を奨励金として交付したほか、移住に係る初期費用の負担軽減に向けた助成金を交付したことにより、移住者の定住に寄与した。
				○姉妹都市等交流推進費 姉妹都市等との友好交流事業を実施する。 姉妹都市：大村市 三市連携交流提携都市：秋田市、常陸太田市	○姉妹都市等交流推進費 457,593円 ・大村市姉妹都市提携記念物産展参加旅費 241,102円 ・常陸太田市「汁ONEカップ2026」参加旅費 52,400円 ・消耗品、コピー代、燃料費、郵便料等 77,561円 ・物産展参加時車両借り上げ料、高速料金 86,530円 姉妹都市である長崎県大村市で開催された「おおむら花菖蒲まつり」の物産展に参加し、両市の親睦を深めるとともに、本市特産品のPRを通じて認知度向上を図った。 交流都市である秋田市・常陸太田市との三市連携による広報活動により各市の魅力をPRし、桜まつり物産展では相互の地域活性化と市民交流を推進。また、常陸太田市で開催された「第13回汁ONEカップ2026」へ参加し、新たな交流の接点を確保した。
				○地域おこし協力隊事業費 自然豊かな地域での生活や地域社会へ貢献することを求める都市地域の人材を積極的に誘致し、地域協力活動に従事してもらいながら定住・定着を図る。	○地域おこし協力隊事業費 8,757,899円 ・起業支援補助金 1件 1,000,000円 ・委託料（4人分） 7,757,899円 ①地域芸術文化振興・次世代継承 1人 （令和4年5月着任、令和7年4月退任） ②インバウンドグリーンツーリズム推進 1人 （令和4年10月着任、令和7年9月退任） ③景観価値を活用したリトリート推進 1人 （令和5年4月着任、令和8年3月退任） ④インバウンドグリーンツーリズム推進 1人 （令和8年1月着任） 隊員はそれぞれの活動テーマで地域活性化の取り組みを行っている。隊員同士の連携による地域活動及び情報発信など、活動の範囲を広げ、地域の活性化に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																						
				計画	実績及び効果																					
				○総合政策審議会費 市長の諮問に基づき、市の総合計画及び重要施策の調整とその実施に関し必要な調査及び審議を行う総合政策審議会を開催し、効果的かつ効率的な行政運営を実施する。	○総合政策審議会費 228,518円 ・報酬、費用弁償 214,686円 ・消耗品、郵便料等 13,832円 令和7年度は計5回の会議を開催。 前半の第1回および第2回では、市行財政改革システムに基づく事務事業の外部評価を行い、対象となった6事業について専門的見地から厳格な検証を実施し、各事業の妥当性や効率性を見直すための重要な指針が得られた。 後半の第3回から第5回にかけては、第3次仙北市総合計画の策定に向けた協議を行い、計画（案）に対して委員より多角的な意見を聴取し、それらを各施策に反映させることで、市民ニーズに即した実効性の高い計画策定を実現した。																					
				○市民意識調査事業費 「仙北市総合計画」及び「仙北市総合戦略」の進行管理に活用し、政策評価等において市民意識を取り入れるため、市民を対象としたアンケート調査を実施する。	○市民意識調査事業費 896,874円 ・消耗品、コピー代、郵便料等 710,952円 ・令和6年度市民意識調査 調査票印刷（3,000部） 185,922円 「仙北市総合計画」及び「仙北市総合戦略」の進行管理に活用し、政策評価等において市民意識を取り入れるため、市民（3,000人）を対象としたアンケート調査を実施し有効回答数は1,143人となった。今回の調査で得た回答をもとに今後の施策に反映する。																					
				○行政DX推進事業費 仙北市DX推進計画に基づき、デジタル化による庁内業務の改善と市民サービスの向上に取り組む。	○行政DX推進事業費 2,015,695円 ・LINEセグメント配信システム使用料 924,000円 ・ノーコードツールPlatio使用料 620,400円 ・文字起こしエディタ使用料 396,000円 ・チャットシステムLoGoチャット使用料 46,200円 ・Web会議ツールライセンス料 29,095円 【LINEセグメント配信活用状況】 <table><tr><th>年度</th><th>配信件数</th><th>友だち登録者数</th><th>受信設定者数</th><th>備考</th></tr><tr><td>R4</td><td>133件</td><td>6,861人</td><td>2,816人</td><td>12月導入</td></tr><tr><td>R5</td><td>919件</td><td>7,891人</td><td>3,451人</td><td></td></tr><tr><td>R6</td><td>674件</td><td>8,714人</td><td>3,851人</td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td>1,419件</td><td>10,295人</td><td>4,809人</td><td></td></tr></table> ※登録者数はブロック数を除く 庁内業務の改善として、会議録作成ツールやビジネスチャットツール、Web会議ツールが適切に運用された。令和4年度に導入したLINEセグメント配信については、市民への情報発信の有効なツールとして活用が図られ市民サービスの向上に寄与している。職員の情報配信意識が高まっていることも、配信件数に現れている。また、令和6年度に導入したノーコードツールPlatioでは、災害対応アプリや、毎日の点検作業の記録アプリを作成し、業務効率化に有効利用している。	年度	配信件数	友だち登録者数	受信設定者数	備考	R4	133件	6,861人	2,816人	12月導入	R5	919件	7,891人	3,451人		R6	674件	8,714人	3,851人		R7
年度	配信件数	友だち登録者数	受信設定者数	備考																						
R4	133件	6,861人	2,816人	12月導入																						
R5	919件	7,891人	3,451人																							
R6	674件	8,714人	3,851人																							
R7	1,419件	10,295人	4,809人																							

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要									
				計画	実績及び効果								
				○政策支援アドバイザー事業費 事務事業や施策の評価手段、部局経営に係るアドバイスのほか、各種計画策定に係る研修実施等の政策支援を得て、本市の行財政改革を遂行する。	○政策支援アドバイザー事業費 2,960,100円 ・委託料 2,960,100円 令和7年度、政策支援アドバイザー事業においては、専門的な知見を活用した計画策定支援および人材育成に注力。 具体的には、事務事業評価や部局経営方針シートの作成、および第3次総合計画の策定プロセス全般に対し、ヘルプデスク機能を通じて随時アドバイスを受けることで、行政運営の質の向上を図った。加えて、各課長級職員を対象とした研修会を開催し、施策立案の手法や適切な目標数値の設定方法について指導を受けることで、政策形成能力の強化を推進した。								
				○インターナショナルスクール誘致事業費 国家戦略特区の優位性や豊富な観光資源、首都圏からのアクセスの良さ等の強みを活かしてインターナショナルスクールの誘致に取り組み、外国人子女等の定住人口や外国人の交流人口の増加、教育産業等の新たな産業の育成による雇用機会の創出、地域の魅力度向上を目指す。	【繰越明許】 11,588,047円 ○インターナショナルスクール誘致事業費 11,588,047円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 227,247円 ・インターナショナルスクール誘致促進委託料 7,851,800円 ・M a a S導入企画・運営委託料 3,509,000円 令和6年1月の視察ツアーに参加して市内開校を具体的に検討し、令和7年2月にインターナショナルスクール開設に関する協定書を締結したシンガポールのインターナショナルスクール運営法人に対し、市内開校に向けた支援を行った。 日本語に不慣れな外国人向けM a a Sの実装に向けた補足調査を生保内地区で令和7年8月～12月に行い、今後の検討に有益な情報が得られた。								
				○ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費 ふるさと納税を通して仙北市の特産品を返礼するとともに、仙北市の産業振興と観光促進を図る。	○ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費 1,954,881,873円 ・会計年度任用職員報酬等（1人） 4,154,275円 ・返礼品代、送料、郵便料 1,211,772,253円 ・決済手数料 10,194,940円 ・業務委託料 728,711,918円 ・消耗品、コピー代、封筒印刷代等 48,487円 ・ふるさと納税申込件数及び金額 <table><tr><td></td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td><td>前年度対比</td></tr><tr><td>件数</td><td>66,589件</td><td>104,760件</td><td>63.6%</td></tr><tr><td>金額</td><td>3,957,840,158円</td><td>3,867,613,746円</td><td>102.3%</td></tr></table> ※大村市からの災害代理寄附（540,852円）は含まない。 魅力のある返礼品や中間事業者による返礼品の開発等により、寄附金額が前年度比2.3%の増となり過去最高寄附額となった。各ポータルサイトでの露出やメルマガ等において本市の魅力を全国にPRすることができた。		令和7年度	令和6年度	前年度対比	件数	66,589件	104,760件	63.6%
	令和7年度	令和6年度	前年度対比										
件数	66,589件	104,760件	63.6%										
金額	3,957,840,158円	3,867,613,746円	102.3%										

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○移住体験推進事業費 秋田県外に居住している方を対象に、2泊3日～6泊7日で仙北市の生活を一時的に体験することで移住に関する不安や疑問を解消してもらうことが目的。移住体験ハウスとして7軒を指定している。	○移住体験推進事業費 5,768,351円 ・消耗品、コピー代、印刷機使用料等 52,748円 ・市営松葉住宅電気料、水道料、清掃料、集落排水使用料、NHK受信料 151,810円 ・事業広告宣伝費 429,000円 ・移住体験サポート業務委託 4,337,850円 ・移住体験ハウス使用料 685,000円 ・移住体験交通費助成 8件 111,943円 体験希望相談〔11件〕、体験実施〔10件〕があり、うち2件が後に移住した。実際に移住体験をしたことで、不安や疑問が解消し、移住の促進につながった。
				○高度外国人材等受入促進事業費 ITエンジニア等の高度外国人材の市内企業への就業及び起業等による地域活性化を目指す。外国人材及び企業双方への支援体制強化のため、グローバル雇用・創業ワンストップセンターを運営する。	【繰越明許】 9,451,184円 ○高度外国人材等受入促進事業費 9,451,184円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 182,584円 ・高度外国人材等招聘促進業務 3,642,100円 ・グローバル雇用・創業ワンストップセンター運営業務委託 5,626,500円 令和7年10月実施の高度外国人材等モニター調査の市内視察には、県内の留学生等10名が参加した。市内視察と併せて実施した合同企業マッチング会には市内企業等6社が出展した。 「仙北市グローバル雇用・創業ワンストップセンター」について、外国人雇用相談センターで19件、開業ワンストップセンターで17件の相談・利用があった。
				○角館高校地域みらい留学推進事業費 秋田県立角館高等学校と仙北市が共同で県外学生の入学受入を推進し、関係人口の創出や若者の将来的な定住人口の増加につなげる。令和8年度からの受入を目指して、令和7年度はPR活動等による生徒募集を実施する。	○角館高校地域みらい留学推進事業費 2,113,285円 ・高校進学フェス in 東京参加旅費 494,015円 ・宅急便代、クリーニング代、旅行保険 24,270円 ・地域みらい留学参画費 1,595,000円 高校進学フェス（合同学校説明会）参加者〔58件〕、体験入学参加者〔2件〕があり、令和8年度からの第1期留学生が1名入学した。地元生徒への様々な好刺激・好影響、地域に愛着を持つ若者の育成に大きな効果が期待される。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○地域運営体活動推進費交付金 地域の特性を活かした自主的、主体的な活動により、地域が抱えている様々な課題を解決したり、所得や生活基盤の向上を図るための事業を行うことで、元気で住みやすく魅力ある地域にするための地域自治組織である地域運営体に財政的支援を行う。	○地域運営体活動推進費交付金 17,613,328円 ・地域運営体別交付額（設立順） ①田沢地域運営体「荷葉」（平成22.4.1設立） 1,947,567円 むらの喫茶店「たざわ」運営事業ほか ②白岩地域運営体（平成22.8.1設立） 1,980,761円 抱返り地区不法投棄防止フェンス及び周辺整備事業ほか ③桧木内地域運営体（平成22.8.22設立） 1,915,971円 敬老を祝う会事業ほか ④神代地域運営体（平成22.9.5設立） 2,211,764円 総合型地域スポーツクラブ事業ほか ⑤西明寺地域運営体（平成22.10.24設立） 1,735,656円 西明寺地域の特産品加工事業ほか ⑥雲沢地域運営体（平成22.12.12設立） 1,240,587円 公共施設周辺環境草刈作業ほか ⑦生保内地域運営体「嶽の会」（平成23.1.29設立） 1,982,490円 イルミネーション設置事業ほか ⑧中川地域運営体（平成23.4.16設立） 1,521,532円 集会施設等整備事業ほか ⑨角館まちづくり地域運営体（平成23.11.27設立） 3,077,000円 施設維持管理事業ほか 地域ごとの身近な課題を地域住民自らが解決するなど自発的、主体的な取組を通じ、人口減少・高齢化が進む中、お互いに助け合う活力に満ちたコミュニティーづくりと、住民と行政の協働による共生社会の形成に寄与した。
				○結婚新生活支援事業補助金（地域少子化対策重点推進交付金） 少子化対策の強化に資することを目的として、新婚世帯に対して住居費及び引越費用等の一部補助を行い、結婚に伴う新生活に係る経済的負担の軽減を図る。	○結婚新生活支援事業補助金（地域少子化対策重点推進交付金） 599,000円 ・交付実績 29歳以下世帯1件、30歳-39歳以下世帯0件 599,000円 新生活をスタートさせる新婚世帯に、住宅購入費やリフォーム費用、賃貸物件の家賃、引越し費用などを補助することで、結婚に伴う経済的不安の軽減につながった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○移住支援事業費補助金 (新しい地方経済・生活環境創生交付金) 過度な東京圏への一極集中の是正及び地方の担い手不足対策を図るため、秋田県と県内25市町村が共同してU I J ターンによる起業・就業者の創出等を行う。	○移住支援事業費補助金（新しい地方経済・生活環境創生交付金） 600,000円 ・交付実績 単身1件、世帯0件 600,000円 東京圏から仙北市に移住して就業・起業等した者に対し移住支援金を交付することで、U I J ターンの促進につながった。
				○地域振興事業費 各市民センターにおいて、地域住民の要望や災害発生等により緊急に対応すべき案件に迅速に対処する。	○地域振興事業費 1,792,510円 ・田沢湖地区 7件 1,041,650円 ・角館地区 1件 104,060円 ・西木地区 2件 646,800円 地域からの要望や災害発生時の応急対応など、3地区で10件の対応を行った。各要望に速やかに対応することで、地域の安心安全の向上に寄与した。
				○街灯費 市が管理する街灯（防犯灯）の適正な維持管理と街灯の新設を行う。	○街灯費 23,309,579円 ・街灯、防犯灯修繕（128カ所） 9,337,102円 ・街灯、防犯灯新設・移設工事（5カ所） 1,482,822円 ・街灯、防犯灯委託料 59,400円 ・街灯電気使用料 12,412,120円 夜間の道路照明等として交通安全に寄与するとともに犯罪抑止効果をもたらす等、市の交通安全、防犯対策の整備を強化した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																																									
				計画	実績及び効果																																																								
				○生活路線代替バス運行費 民間バス事業者の路線廃止に伴い、地域と学校、医療機関等を結ぶ市民バス及びデマンド型乗合タクシーの運行を行う。	○生活路線代替バス運行費63,553,252円 ・市民バス（向生保内線）※指定管理者 ①事業概要 運行日数294日 1日平均乗車数16.4人 <table><tr><td>大人利用者</td><td>4,495人</td></tr><tr><td>子供利用者</td><td>331人</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,826人</td></tr></table> ②事業収支 収入 <table><tr><td>県補助金</td><td>1,117,000円</td></tr></table> 支出 <table><tr><td>運行維持費</td><td>627,800円</td></tr><tr><td>運転委託費</td><td>8,097,000円</td></tr><tr><td>合計</td><td>8,724,800円</td></tr></table> ・市民バス（下延八割線）※指定管理者 ①事業概要 運行日数294日 1日平均乗車数43.7人 <table><tr><td>大人利用者</td><td>9,280人</td></tr><tr><td>子供利用者</td><td>3,573人</td></tr><tr><td>合計</td><td>12,853人</td></tr></table> ②事業収支 収入 <table><tr><td>県補助金</td><td>1,737,000円</td></tr></table> 支出 <table><tr><td>運行維持費</td><td>560,829円</td></tr><tr><td>運転委託費</td><td>14,477,000円</td></tr><tr><td>合計</td><td>15,037,829円</td></tr></table> ・市民バス（鎧畑線）※NPO法人へ委託 ①事業概要 運行日数291日 1日平均乗車数11.1人 <table><tr><td>大人利用者</td><td>2,789人</td></tr><tr><td>子供利用者</td><td>429人</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,218人</td></tr></table> ②事業収支 収入 <table><tr><td>県補助金</td><td>0円</td></tr><tr><td>利用料</td><td>713,800円</td></tr><tr><td>合計</td><td>713,800円</td></tr></table> 支出 <table><tr><td>運行維持費</td><td>807,761円</td></tr><tr><td>運転委託費</td><td>3,262,160円</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,069,921円</td></tr></table> ・デマンド型乗合タクシー ①事業概要 運行日数(各社平均)294日 1日平均乗車数68.0人 <table><tr><td>大人利用者</td><td>14,801人</td></tr><tr><td>子供利用者</td><td>5,196人</td></tr><tr><td>合計</td><td>19,997人</td></tr></table> ②事業収支 収入 <table><tr><td>県補助金</td><td>7,492,000円</td></tr></table> 支出 <table><tr><td>運行維持費</td><td>34,814,936円</td></tr></table> ・消耗品、コピー代、郵便料、保険料等755,766円 ・地域公共交通会議負担金150,000円 民間バス事業者の路線廃止に伴い、市民バス及びデマンド型乗合タクシーを運行し、各地域と学校や医療機関、活動拠点などをつなぎ、生活実態に応じた路線・交通の利便性を確保した。	大人利用者	4,495人	子供利用者	331人	合計	4,826人	県補助金	1,117,000円	運行維持費	627,800円	運転委託費	8,097,000円	合計	8,724,800円	大人利用者	9,280人	子供利用者	3,573人	合計	12,853人	県補助金	1,737,000円	運行維持費	560,829円	運転委託費	14,477,000円	合計	15,037,829円	大人利用者	2,789人	子供利用者	429人	合計	3,218人	県補助金	0円	利用料	713,800円	合計	713,800円	運行維持費	807,761円	運転委託費	3,262,160円	合計	4,069,921円	大人利用者	14,801人	子供利用者	5,196人	合計	19,997人	県補助金	7,492,000円	運行維持費	34,814,936円
大人利用者	4,495人																																																												
子供利用者	331人																																																												
合計	4,826人																																																												
県補助金	1,117,000円																																																												
運行維持費	627,800円																																																												
運転委託費	8,097,000円																																																												
合計	8,724,800円																																																												
大人利用者	9,280人																																																												
子供利用者	3,573人																																																												
合計	12,853人																																																												
県補助金	1,737,000円																																																												
運行維持費	560,829円																																																												
運転委託費	14,477,000円																																																												
合計	15,037,829円																																																												
大人利用者	2,789人																																																												
子供利用者	429人																																																												
合計	3,218人																																																												
県補助金	0円																																																												
利用料	713,800円																																																												
合計	713,800円																																																												
運行維持費	807,761円																																																												
運転委託費	3,262,160円																																																												
合計	4,069,921円																																																												
大人利用者	14,801人																																																												
子供利用者	5,196人																																																												
合計	19,997人																																																												
県補助金	7,492,000円																																																												
運行維持費	34,814,936円																																																												

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○生活バス路線対策費 日常生活上の交通手段の確保のため、民間バス事業者の運営に対し補助を行う。	○生活バス路線対策費 35,605,000円 ・生活バス路線等維持費補助金 35,605,000円 対象：市内11系統（羽後交通(株)、秋北バス(株)） （財源内訳） 県補助金 9,761,000円 一般財源 25,844,000円 民間が運行している路線バスは、市内はもとより他市町をつなぐ生活交通としての役割を担っている。補助金の交付により日常の移動が困難な交通弱者など、市民が生活を維持する上で重要な交通路線を確保した。
				○よぶのる角館運行事業費 角館中心市街地において、J R 東日本と連携協力しながらM a a Sを活用した「角館オンデマンド交通」（よぶのる角館）を運営し、観光需要の創出並びに地域住民の交通利便性向上に資する取組を推進する。 地域公共交通計画に基づき、角館駅および角館総合病院でよぶのる角館車両の位置情報やスマイルバスの到着を知らせるロケーションシステムを導入、運用する。	○よぶのる角館運行事業費 31,902,314円 ①事業概要 乗車人数 令和4年度 6,286人 令和5年度 10,004人 令和6年度 12,348人 令和7年度 9,059人 運行日数 361日 1日平均乗車数 25.1人 観光客及び市民に「よぶのる角館」の利活用について周知に取り組んだが、観光シーズンにクマによる被害や出没が多かったことから観光客の利用者が減少し、乗車人数も減少する結果となった。
				○秋田内陸線利活用促進事業費負担金 秋田内陸線等の地域公共交通の活性化及び再生を推進するため、秋田内陸地域公共交通連携協議会が行う事業への負担金を支出する。	○秋田内陸線利活用促進事業費負担金 8,657,971円 ・秋田内陸地域公共交通連携協議会負担金 8,657,971円 秋田内陸地域公共交通連携協議会において、田んぼアートや観光ガイドマップの作成、クレヨンしんちゃんのイラストを装飾した列車の運行等の事業を行うことで、内陸線の利用促進・利便性向上に寄与した。
				○秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金 日常生活上の交通手段の確保及び観光産業の活性化のため、秋田内陸縦貫鉄道(株)の運営に対し4者合意に基づき、補助を行う。	○秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金 65,805,200円 ・鉄道路線（角館駅～鷹巣駅）94.2 k m 輸送人員実績（単位：人） 令和6年度 輸送人員 226,690 うち外国人 39,443 令和7年度 輸送人員 191,129 うち外国人 37,319 増減 輸送人員 △ 35,561 うち外国人 △ 2,124 ※外国人実績については団体旅行実績数値 （財源内訳） 県補助金 13,500,000円 仙北ふるさと振興基金繰入金＋一般財源 52,305,200円 令和6年度の4者（秋田県、北秋田市、仙北市、秋田内陸縦貫鉄道(株)）による基本合意書の見直しと、令和7年度から実施する鉄道事業再構築事業により全体で秋田内陸縦貫鉄道への補助が3,000万円の削減となり、県・市の負担額が下がった。

2 款 総 務 費 2 項 徴 税 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
260,450,000	255,626,525	321,000	4,502,475	○賦課徴収費 市税の賦課・徴収に係る事務を、電算システムを活用して適正かつ効率的に行う。	○賦課徴収費 66,336,262円 ・家屋評価システム保守業務委託 534,600円 ・申告支援システム保守業務委託 4,316,400円 ・税務システム大量出力業務委託 13,200,000円 ・固定資産税地理情報システムデータ加除修正業務委託 5,060,000円 ・固定資産税時点修正鑑定評価業務委託 1,191,300円 ・不動産番号敷設用 土地・家屋登記課税データクレンジング業務委託 13,464,000円 ・令和9年度基準評価替えに係る鑑定評価業務委託 7,059,800円 ・e L T A X新機能追加対応業務委託 770,000円 ・登記情報データ取込システム構築業務委託 165,000円 適切かつ効率的な賦課・徴収に寄与した。
				○定額減税補足給付金事業費 定額減税及び給付に係る事務を、電算システムを活用して適正かつ効率的に行う。また、膨大な問い合わせが想定されることから、コールセンターを設置し、市民からの問い合わせに対して迅速かつ適切に対応する。	○定額減税補足給付金事業費 96,468,862円 ・定額減税補足給付金事業に係るコールセンター等業務委託 3,245,000円 ・定額減税調整給付金 91,750,000円 適切かつ効率的な定額減税業務に寄与した。

3 款 民 生 費 1 項 社 会 福 祉 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
3,152,583,000	3,060,060,385	26,129,000	66,393,615	○生活困窮者自立支援事業費 生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者（＝生活困窮者）の自立促進を図るため、生活困窮者自立相談支援事業の実施、生活困窮者住居確保給付金の支給及びその他の自立を支援する。	○生活困窮者自立支援事業費 5,811,762円 ・生活困窮者自立相談支援事業委託料 5,723,762円 委託先：（福）仙北市社会福祉協議会 ・就労支援員研修旅費 67,350円 ・事務経費 20,650円 ・住居確保給付金 0円 相談支援は、委託先である社会福祉協議会内に仙北市自立相談応援センターを設置し、専任職員を配置して行った。市でも相談対応をしており、合わせて年間60件の相談があり、各種情報提供や関係機関へのつなぎを実施した。 自分の力だけでは困窮から抜け出せない対象者に、各種支援策の斡旋や就労へ結びつける支援を行い、必要に応じて生活保護制度へのつなぎを実施した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○物価高騰対応重点支援給付金支給事業費（国補正追加分） ・灯油購入費緊急助成金 灯油価格の高騰が低所得世帯等の家計を圧迫していることから、低所得世帯の負担軽減を図るため、灯油購入費に対し補助する。	○物価高騰対応重点支援給付金支給事業費 21,400,015円 （国補正追加分） ○灯油購入費緊急助成金 ・事務経費（需用費、役務費等） 1,318,815円 ・扶助費（振込世帯3,292世帯） 20,081,200円 令和7年度市民税非課税世帯3,343世帯（基準日12月1日）のうち、98.5%の3,292世帯へ灯油購入費6,100円を支給し、高騰する灯油価格に対して緊急的な支援を実施した。
				○特別障害者手当等支給費 重度の障がい者を有し、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅障がい者（児）に手当を支給する。 特別障害者手当 29,590円／月 障害児福祉手当 16,100円／月 福祉手当（経過措置） 16,100円／月	○特別障害者手当等支給費 24,764,582円 ・内訳（実人数84人） 特別障害者手当（延月数 788月） 23,223,920円 障害児福祉手当（延月数 84月） 1,346,660円 福祉手当（延月数 12月） 192,380円 計（延月数 884月） ・役務費（手数料） 1,622円 精神又は身体に著しく重度の障がいがある方（在宅）に手当を支給することで福祉の増進を図り、在宅生活の継続を支援した。
				○地域生活支援事業費 障がいのある人が有する能力や適正に応じ、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。	○地域生活支援事業費 23,392,264円 ・相談支援事業（相談支援事業所愛仙へ委託） 相談件数 1,411件 委託料 7,202,312円 生活上の様々な相談を受け、自立支援医療、手帳及びサービス利用につなげることができ、地域生活を継続支援した。 ・意思疎通支援事業 手話通訳派遣旅費 11回（1人） 35,594円 要約筆記者派遣委託料 3回（1人） 72,974円 聴覚障がい者が、社会参加や病院受診の際などに、コミュニケーション手段をサポートし、活動の幅が広がり、地域での暮らしを支援した。 ・日常生活用具給付事業 蓄便袋・蓄尿袋・紙おむつほか 875件（162人） 8,248,425円 ・移動支援事業 26回（1人） 170,955円 ・訪問入浴サービス事業 200回（3人） 2,663,664円 ・日中一時支援事業 委託料（34人） 4,285,444円 ・芸術文化活動振興事業 ふれあい芸能文化発表会補助金 500,000円 ・声の広報等発行事業 声の広報等発行補助金 1団体 30,000円 ・事務費（需用費、役務費） 187,740円 障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、ストーマ装具等の日常生活用具等給付事業や、家族及び介護者の一時的な負担軽減を図る日中一時支援事業を中心に行っており、地域福祉の増進と在宅生活を支援した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○障害者自立支援給付費 障害者総合支援法に基づき身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、難病患者等の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	○障害者自立支援給付費 659,730,966円 ・障害福祉サービス費の支給 扶助費（234人） 600,788,134円 ・障害児通所給付費の支給 扶助費（33人） 38,888,268円 ・補装具費（交付・修理）の支給 扶助費（35件） 4,195,068円 ・自立支援医療費（更生、育成医療）の支給 更生医療扶助費（32人） 11,132,481円 育成医療扶助費（1人） 2,598円 療養介護医療扶助費（5人） 3,636,996円 役務費 1,087,461円 ホームヘルプや通所サービスの利用により、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援した。また、就労系サービスの利用により、一般企業への就労や生産活動を通して雇用への移行を支援した。 自立支援医療費の支給は、障がい者の医療費の負担軽減が図られ、さらに補装具の購入・修理時には経済的負担が軽減され自立した生活を支援した。
				○人工透析通院費支給事業費 腎臓機能に障がい有する方が、人工透析治療を受けるため居住地から医療機関への通院に要した交通費の一部を助成する。	○人工透析通院費支給事業費 1,620,864円 ・人工透析通院費の支給 38人 1,620,864円 腎臓機能障害により人工透析を受けている方の通院費を助成することにより、経済的支援及び確実な治療の継続に寄与した。
				○障がい者（児）タクシー利用券給付事業費 仙北市に住所を有する重度身体障がい者（児）、知的障がい者（児）、精神障がい者（児）及び難病患者（特定医療費（指定難病）受給者）の生活圏の拡大を図るとともに、社会参加を促進し福祉の増進を図るため、タクシーの利用料金の一部を助成する。（ただし、在宅の障がい者を対象とすることから社会福祉施設入所者は除く。）	○障がい者（児）タクシー利用券給付事業費 1,467,600円 ・タクシー利用券の給付 164人 1,467,600円 15,000円のタクシー利用券を乗車料金の範囲内で自由に利用できるものであり、障がい者の外出における利便性の向上に寄与した。
				○障害者通所施設等交通費助成金交付事業費 障がい者施設等に通所する障がい者又はその介護者の経済的負担の軽減のため、通所に要する交通費の一部を助成する。	○障害者通所施設等交通費助成金交付事業費 791,880円 ・交通費の助成 20人 791,880円 障がい者施設等に通所する障がい者又はその介護者の経済的負担を軽減させることにより、障がい者施設等の利用を促進し、障がい者福祉の向上に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																			
				計 画	実 績 及 び 効 果																		
				○仙北市権利擁護センター事業費 「成年後見制度利用促進法」に基づく中核機関である仙北市権利擁護センターの機能を仙北市社会福祉協議会へ委託する。日常生活自立支援と法人後見事業を一本化させ、業務の効率化と市民の利便性向上を図る。	○仙北市権利擁護センター事業費 3,367,135円 ・権利擁護センター事業（仙北市社会福祉協議会へ委託） 相談件数 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">高齢者 (包括受付)</th><th colspan="2">障がい者 (社会福祉課受付)</th><th colspan="2">権利擁護センター</th></tr> <tr> <th>相談件数</th><th>市長申立</th><th>相談件数</th><th>市長申立</th><th>相談件数</th><th>後見等受任</th></tr> <tr> <td>21</td><td>0</td><td>7</td><td>0</td><td>16</td><td>3</td></tr> </table> 委託料 2,306,260円 「成年後見制度利用促進法」に基づく中核機関である仙北市権利擁護センターを仙北市社会福祉協議会へ業務を委託し業務の効率化と市民の利便性向上に寄与した。 ・事務費（役務費） 8,000円 ・成年後見人等の報酬助成 4件 1,041,000円 成年後見制度の利用が有用であるが経費について補助を受けなければ利用困難な障がい者に対し、経費等を助成することで、制度の利用促進を図った。	高齢者 (包括受付)		障がい者 (社会福祉課受付)		権利擁護センター		相談件数	市長申立	相談件数	市長申立	相談件数	後見等受任	21	0	7	0	16	3
高齢者 (包括受付)		障がい者 (社会福祉課受付)		権利擁護センター																			
相談件数	市長申立	相談件数	市長申立	相談件数	後見等受任																		
21	0	7	0	16	3																		
				○障害者支援施設等物価高騰対策事業費 物価高騰に伴う障害者支援施設の負担軽減を図るため、光熱水費等及び食材料費の一部を補助する。	○障害者支援施設等物価高騰対策事業費 2,485,600円 ・負担金補助及び交付金 2,485,600円 市内にある障害者支援施設7施設に対して、施設区分や定員数に応じた金額を交付し、高騰する光熱水費等及び食材料費に対して緊急的な支援を実施した。																		
				○緊急通報装置給付・貸付事業費 急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、ひとり暮らし高齢者や身体障がい者等に対し、緊急通報装置を貸与する。	○緊急通報装置給付・貸付事業費 2,583,088円 委託料(仙北市社会福祉協議会) 2,583,088 円 設置 43台（令和7年度中 新設 10件・撤去 10件） 緊急時に緊急通報装置を使用すると、委託業者による対象者への駆けつけ、協力者への通報などが行われるため、ひとり暮らしの高齢者や身体障がい者の不安解消につながっている。																		
				○高齢者共同生活(相互援助ホーム)支援事業費 家庭の事情により養護を必要とする高齢者に対して、冬季間一時的に施設で養護することにより、高齢者及びその家族の日常生活を支援する。	○高齢者共同生活（相互援助ホーム）支援事業費 4,605,591円 委託料(社会福祉法人県南ふくし会) 4,604,320円 延べ利用日数 1,097 日 実利用者数 7 人 冬季間自宅で生活することが困難な高齢者の一時的な養護と、共同生活を送ることによる日常生活の安定が図られている。																		
				○高齢者世帯等除雪支援事業費 自力で除雪することが困難と認められる高齢者世帯等に対して除排雪や雪下ろしに係る費用の一部を助成する。	○高齢者世帯等除雪支援事業費 13,790,548円 除排雪事業 407 件 7,727,000円 雪下ろし事業 377 件 5,440,000円 自力で除排雪を行うことができない高齢者等の除排雪および雪下ろしに係る費用の一部を助成することにより、冬季間生活する上での不安解消につながっている。																		

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○介護タクシー利用助成事業費 介護度3以上の要介護認定者が、ケアプラン外で介護タクシーを利用したときの、利用経費中の介助料の2分の1を助成する。（令和7年度より、ケアプラン内での介護タクシー利用時と自己負担項目を同一とし、助成の要件を変更。）	○介護タクシー利用助成事業費 10,710円 延べ利用数 10 件 家族等での移送が困難な要介護認定者に対し、介護タクシー利用料の一部を助成することにより、在宅生活の継続及び負担軽減が図られている。
				○高齢難聴者補聴器購入費助成事業費 市内に居住する65歳以上の中度難聴者の補聴器購入費の一部を助成する。（購入費の2分の1か市民税課税者2万円、市民税非課税者2万5千円のいずれか低い金額）	○高齢難聴者補聴器購入費助成事業費 910,000円 助成件数 37 件 難聴により会話やコミュニケーションがとりにくくなった高齢者に対し補聴器購入費の一部を助成することにより、社会参加及び認知症、認知症進行、うつ病等の予防につながっている。
				○福祉医療費 仙北市に在住する乳幼児、小中学生、高校生等（令和4年8月～）、ひとり親家庭の児童、高齢身体障がい者、重度心身障がい（児）者の医療費の保険適用分の自己負担相当額を助成する。 乳幼児、小中学生区分… 市民税所得割課税世帯は一部自己負担ありとしていたが、制度改正により令和4年8月以降自己負担分全額助成を開始	○福祉医療費 183,619,017円 ・乳幼児、小中学生及び高校生等 58,633,320円 ・ひとり親家庭の児童 7,151,424円 ・高齢身体障がい者 24,523,086円 ・重度心身障がい（児）者 99,897,148円 ・福祉医療高額療養費戻入金(国保分) △ 6,585,961円 福祉医療費の助成は、乳幼児、小中学生、高校生等、ひとり親家庭の児童、高齢身体障がい者、重度心身障がい（児）者の健康保持と生活安定を図るための重要な施策であり、引き続き実施していく。
				○予防ケアプラン作成事業費 要支援認定者に対し、個別の状況に応じたサービスを提供するためのケアプランを作成する。指定居宅事業所に業務委託。	○予防ケアプラン作成事業費 5,632,040円 ・予防ケアプラン作成件数 1,261件 介護を予防し、自立した日常生活を送れるよう支援した。
				○介護予防ケアマネジメント事業費 事業対象者と要支援認定者に対し、自立した生活が送れるように本人の目標達成に向けたプランを作成する。指定居宅事業所に業務委託。	○ 介護予防ケアマネジメント事業費 11,544,289 ・介護予防ケアマネジメント作成件数 2,520件 介護を予防し、自立した日常生活を送れるよう支援した。
				○介護予防普及啓発事業費 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、認知症についての知識や予防についての講話と運動を取り入れた教室を開催する。	○介護予防普及啓発事業費 288,955円 ・あたまとからだの若返り教室 市内9か所 45回開催 参加者実人数112人 延べ395人 認知症についての知識や予防についての講話と運動を取り入れた教室を開催し、介護予防について普及啓発した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○権利擁護事業費 認知症等により判断能力が十分ではない方について、関係機関と連携を図りながら日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用支援を行う。	○権利擁護事業費 11,614円 ・権利擁護（成年後見含む）相談件数 延べ56件 ・高齢者虐待相談件数 延べ49件（内認定1件） 成年後見制度相談については、家庭裁判所や医療機関と連携を図りながら対応している。 虐待対応では、相談・通報等受付けた際は聞き取り、情報収集、訪問調査を行い、事実確認後コアメンバー会議を開催し対応方針を決定した。
				○生活支援体制整備事業 介護予防するとともに、要介護状態となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、地域全体で高齢者を支える体制づくりを進める。	○生活支援体制整備事業 16,994,803円 ・第1層協議体会議 3回開催 参加者延べ64人 ・地域の支え合い講座 1回開催 参加者29人 ・第1層・第2層ＳＣ情報交換会 5回開催 ・第2層協議体 社会福祉協議会に委託 委託料4,200,000円 地域住民や各種団体、企業の関係者等で構成される協議体会議の開催や生活支援コーディネーター（ＳＣ）を2名配置し、各サロン・集いの場への活動支援として「仙北市集いの場おたすけ一覧」の作成、「資源リスト」の更新等に取り組み、地域全体で高齢者を支える体制づくりに寄与した。
				○認知症地域支援・ケア向上事業 認知症の方やその家族への支援体制強化と認知症ケアの向上を推進する。	○認知症地域支援・ケア向上事業 3,763,905円 ・オレンジカフェ（認知症カフェ）実施団体に補助金交付 4団体 267,100円 ・直営オレンジカフェ（認知症カフェ） 12回開催 認知症の方やその家族、地域の人など誰でも気軽に集うことができる場としてオレンジカフェを定期的に開催した。専門職による相談対応や認知症についての理解を深めることができ、地域で支える環境を整備するとともに認知症の方等の社会参加の機会の創出に寄与した。
				○地域ケア会議推進事業 高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指し、困難事例や広域的な課題について多機関・多職種で検討し、総合的な調整や推進を図る。	○地域ケア会議推進事業 4,710,616円 ・地域個別ケア会議 11回開催 （13事例） ・自立支援型地域ケア会議 8回開催 （2事例×4回） ・地域ケア推進会議 2回開催 多職種が連携し、個別ケース支援内容の検討をする個別ケア会議や支援が必要になった原因に応じて、実現可能な目標設定と改善可能性のある機能に働きかける支援方法の検討する自立支援型ケア会議の開催により地域課題を抽出し、地域ケア推進会議で情報交換、課題解決に向けた話し合いを行い施策の検討に繋げた。

3 款 民 生 費 2 項 児 童 福 祉 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1,925,942,000	1,837,440,458	163,000	88,338,542	○ひとり親家庭福祉事業費 ひとり親家庭の相談指導、子育て・生活の支援、資金の貸付けを行う。	○ひとり親家庭福祉事業費 4,325,619円 ・母子・父子自立支援員報酬・費用弁償、消耗品費等 世帯数 257世帯(母子227、父子30) ・ひとり親家庭の相談件数 69件 ・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 1件 126,016円 ・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 0件 0円 ひとり親家庭の親や子どもの悩み、就学、就職、経済的自立などの相談に母子・父子自立支援員が応じ、生活の不安解消や自立のための指導を行っている。
				○子育てファミリー支援事業費 平成30年4月2日以降に第3子以降の子が生まれ、かつ、その子を含む3人以上の子を養育する世帯に対し、市が指定する有料の子育て関連サービスに充当できるサポート券(15,000円相当)を交付する。	○子育てファミリー支援事業費 1,481,510円 ・サポート券精算額 1,381,000円 ※サポート券交付件数 94件 1,410,000円 相当 ・事業に係る事務的経費 100,510円 平成30年4月2日以降に第3子以降の子が生まれ、かつ、その子を含む3人以上の子を養育する家庭を経済的に支援することで、児童福祉の向上を図ることができた。
				○育児支援金給付事業費 仙北市の次代を担う子どもの健やかな成長を願い、満1歳及び満2歳の誕生日を迎えた子育て世帯に対し、対象児童1人当たり15,000円を支給する市の独自事業。	○育児支援金給付事業費 2,130,800円 ・育児支援金 1歳児 65人 2歳児 75人 2,100,000円 ・支給に係る事務的経費 30,800円 子どもの誕生日という節目を迎える子育て世帯に対し、共に子どもの健やかな成長を願う事を伝え、仙北市で育児する保護者を支援した。
				○出産準備金給付事業費 妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、経済的支援(計100,000円)を支給する事業。令和6年度(令和7年3月31日生まれまでが対象)で事業終了。	○出産準備金給付事業費 251,030円 ・子育て応援ギフト対象者 5人 250,000円 ・支給に係る事務的経費 1,030円 妊娠期から出産・子育てまで継続的に相談支援するとともに、経済的支援(計100,000円)を支給することで、子育て支援につながった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																			
				計 画	実 績 及 び 効 果																		
				○こども家庭センター運営事業費 こども、子育て世帯、妊産婦等に対し、母子保健・児童福祉両機能が一体的支援を行い、両機能の連携、協働を深め、虐待予防や子育てに困難を抱える家庭等に対して切れ目ない支援を提供していく。また、地域において子育てに関するニーズを把握し、必要な社会資源の開拓を行い、関係機関との連携強化に努める。	○こども家庭センター運営事業費 4,867,634円 ・個別相談実件数（延べ対応件数） 新規相談 89件（417件） 継続相談 72件（1080件） 特定妊婦 6件（24件） ・関係機関との連携のため以下の会議を開催 ①合同ケース会議 17回 ②就学前児童に関する支援機関連携会議 4回 ・サポートプラン作成・手交件数（児童福祉）作成12件、見直し18件 ・親子関係支援事業 個別15件、集団15件 ・児童虐待防止キャンペーン事業 個別相談 1件 講話参加者 8組 母子保健と児童福祉が同じ部署になったことで、両機能の連携が強化され、乳幼児健診や各種教室等から個別相談に繋がるケース（新規相談）が増加。これにより、支援が必要なこどもや保護者等の早期発見・早期対応の充実が図られ、併せて関係機関との連携強化も構築されてきている。																		
				○妊婦のための支援給付事業費 令和7年度からの事業。妊婦を経済的に支援するため、妊娠届出時（妊婦支援金1回目）や出産届出時等（妊婦支援金2回目）のあった妊婦等に対し、妊婦支援金（各50,000円ずつ）を支給する。	○妊婦のための支援給付事業費 5,180,198円 ・妊婦支援金（1回目）対象者 51人 ・妊婦支援金（2回目）対象者 52人 ・支給に係る事務的経費 30,198円 妊娠期から出産・子育てまで継続的に相談支援するとともに、妊婦支援金（各50,000円ずつ）を支給することで、子育て支援につながった。																		
				○物価高対応子育て応援手当支給事業費 国が物価高対策として実施した事業で、住所地において児童手当受給者に対し、子ども1人あたり20,000円を支給することで、子育て世帯を経済的に支援するもの。①児童手当受給者には手続き扶養の積極支給により、②公務員受給者は申請により支給する。	○物価高対応子育て応援手当支給事業費 46,599,919円 ①児童手当受給者 1,091人 36,820,000円 ②公務員受給者 230人 7,460,000円 ・支給に係る事務的経費 2,319,919円 ①1,841名、②373名の計2,214名の児童について、物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減することができた。①は手続き不要の積極支給により申請の負担も軽減した。																		
				○児童手当給付費 次世代の社会を担う子どもの育ちを社会全体で応援する観点から、児童を養育する者に手当を支給する。	○児童手当給付費 277,935,000円 <table><tr><th colspan="2">区分</th><th>延べ人数</th><th>金額</th></tr><tr><td rowspan="2">0歳から 3歳未満</td><td>被用者</td><td>1,475人</td><td>27,450,000円</td></tr><tr><td>非被用者</td><td>303人</td><td>6,735,000円</td></tr><tr><td rowspan="2">3歳以上 高校生年代まで</td><td>被用者</td><td>17,595人</td><td>210,190,000円</td></tr><tr><td>非被用者</td><td>2,798人</td><td>33,560,000円</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>22,171人</td><td>277,935,000円</td></tr></table> 児童を養育している方に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。	区分		延べ人数	金額	0歳から 3歳未満	被用者	1,475人	27,450,000円	非被用者	303人	6,735,000円	3歳以上 高校生年代まで	被用者	17,595人	210,190,000円	非被用者	2,798人	33,560,000円
区分		延べ人数	金額																				
0歳から 3歳未満	被用者	1,475人	27,450,000円																				
	非被用者	303人	6,735,000円																				
3歳以上 高校生年代まで	被用者	17,595人	210,190,000円																				
	非被用者	2,798人	33,560,000円																				
合計		22,171人	277,935,000円																				

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○児童扶養手当給付費 18歳未満の児童を養育している父母又は父母にかわって児童を養育している者に手当を支給する。	○児童扶養手当給付費 81,568,410円 全部支給者延べ月人数 851人 一部支給者延べ月人数 1,038人 2子加算延べ月人数 696人 ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることができた。
				○母子生活支援施設等入所措置費負担金 母子生活支援施設に入所している世帯の措置費を負担する。	○母子生活支援施設等入所措置費 990,221円 ・対象世帯 1世帯 生活に深刻な不安のある母子が施設職員の支援を受けながら、育児と就労を両立し、自立に向けて生活している。
				○認可保育園等管理運営費等	○認可保育園等管理費 9,681,497円 市立3園の施設設備に係る管理経費
				○すこやか子育て保育料助成事業費 私立認定こども園、認可保育所、幼稚園、認可外保育所、地域型保育事業の利用者に対して保育料を助成する。	○すこやか子育て保育料助成事業費 39,289,305円 実人数 433人 保育料・副食費を県と共同で助成することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援を図ることができた。
				○放課後児童対策事業費 昼間労働等の都合で家庭に保護者のいない小学校児童に対し、遊びや生活の場を与えるため、放課後児童クラブを設置する。	○放課後児童対策事業費 149,426,664円 放課後児童健全育成事業に係る経費 24,609,735円 放課後児童クラブ支援員賃金等 124,816,929円 ・利用児童数（平均実利用児童数） 白樺児童会（生保内小学校内） 60人 ポプラ学園（神代小学校内） 47人 かくのだて児童クラブ（角館児童館内） 60人 かしわっこクラブ（白岩コミュニティセンター内） 8人 マロンクラブ（西明寺小学校内） 39人 ひのきっこクラブ（松木内小学校内） 24人 中川っ子クラブ（中川コミュニティセンター内） 5人 放課後児童クラブの利用児童数が増加傾向にあり、利用満足度も高まっている。
				○教育・保育施設給付費 子ども・子育て支援制度の給付対象事業所（私立運営）を利用する児童の施設に交付する。	○教育・保育施設給付費 535,401,770円 教育・保育が必要と認められて給付認定を受けた児童が、市が委託した特定教育・保育施設で行う教育・保育に対して算定された額を、それぞれの施設に対して支払った。また、施設給付費受給により安定した運営ができ、児童の安全安心な対応ができた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																						
				計画	実績及び効果																					
				○子ども・子育て支援事業費 ・私立教育・保育施設 施設において集団で教育・保育を行い、子育てを支援する。 【対象施設】 だしのこ園、神代こども園、角館こども園、にこにここども園、ひのきないこども園	○子ども・子育て支援事業費 33,045,001円 角館地区1園、田沢湖地区2園、西木地区2園の一時預かり 事業委託料 令和7年度利用児童数 <table><tr><th>こども園名</th><th>人数</th><th>利用回数</th></tr><tr><td>だしのこ園</td><td>6人</td><td>19回</td></tr><tr><td>神代こども園</td><td>22人</td><td>99回</td></tr><tr><td>角館こども園</td><td>18人</td><td>69回</td></tr><tr><td>にこにここども園</td><td>8人</td><td>21回</td></tr><tr><td>ひのきないこども園</td><td>4人</td><td>9回</td></tr><tr><td>合 計</td><td>58人</td><td>217回</td></tr></table>	こども園名	人数	利用回数	だしのこ園	6人	19回	神代こども園	22人	99回	角館こども園	18人	69回	にこにここども園	8人	21回	ひのきないこども園	4人	9回	合 計	58人	217回
				こども園名	人数	利用回数																				
				だしのこ園	6人	19回																				
				神代こども園	22人	99回																				
				角館こども園	18人	69回																				
				にこにここども園	8人	21回																				
ひのきないこども園	4人	9回																								
合 計	58人	217回																								
○就学前教育・保育施設主食費無料化事業費 育児に係る保護者の負担軽減のため、3歳以上児への主食（米飯）の無償提供を行う。	○就学前教育・保育施設主食費無料化事業費 1,432,863円 ・市立保育園3園分 334,427円 ・市で委託している法人の認定こども園5園分 1,098,436円 県産米を地元の米穀店から購入し、食の安全性を保ちかつ安心できる給食を提供する一端を担うことができた。																									
○保育補助者雇上強化事業費 保育士の補助を行う保育補助者の雇上げに必要な費用を補助する。	○保育補助者雇上強化事業費 18,716,000円 だしのこ園 保育補助 1名 神代こども園 保育補助 1名 にこにここども園 保育補助 1名 ひのきないこども園 保育補助 1名 角館こども園 保育補助 2名 保育所等における保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の補助を行う保育補助者の雇上げに必要な費用を補助した。																									
○医療的ケア児保育支援事業費 医療的ケアを必要とするこどもの受け入れ体制の整備を推進する。	○医療的ケア児保育支援事業費 9,013,153円 ・神代こども園 人件費（保育教諭・看護師） 8,983,153円 医療的ケア備品 30,000円 医療的ケアを必要とするこどもの受け入れ体制の整備を推進するため、神代保育園における看護師の配置や保育士の研修の受講等を支援した。また、対象園児の健やかな園生活が維持できた。																									
○社会福祉法人はなさき仙北補助金	○社会福祉法人はなさき仙北補助金 334,511,157円 ・幼保連携型認定こども園の円滑な運営に資する補助金 未就学児が公立、私立どちらを利用しても平等な教育・保育サービスの提供により健やかな成長を図ることができた。																									
○就学前教育・保育施設整備等補助金	○就学前教育・保育施設整備（大規模修繕） 33,361,900円 ・神代こども園、にこにここども園、角館こども園 子どもを安心して育てられる保育施設を確保し、質の高い保育環境を整備した。																									

3 款 民 生 費 3 項 生 活 保 護 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
465,093,000	457,582,635	0	7,510,365	○生活保護費 被保護者に対し、生活の困窮に応じ必要な保護を行い、その最低生活を保障するとともに、自立助長を図る。	○生活保護費 444,736,011円 ・生活扶助費 108,335,623円 ・住宅扶助費 47,880,234円 ・教育扶助費 357,199円 ・介護扶助費 13,798,346円 ・医療扶助費 250,325,747円 ・生業扶助費 995,526円 ・葬祭扶助費 655,750円 ・就労自立給付金 61,773円 ・進学・就職準備給付金 0円 ・施設事務費 22,325,813円 月平均で259世帯、329人に対し、生活扶助や医療扶助など必要な保護を行い、最低生活を保障するとともに、就労支援により自立を促進し保護からの脱却を図ることができた。

4 款 衛 生 費 1 項 保 健 衛 生 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
825,183,000	786,453,359	0	38,729,641	○母子保健対策費 健康な母体づくりを目的に、定期的な健康相談の推進、さらに乳幼児の健全な成長に資する事業を実施する。	○母子保健対策費 12,427,320円 ・妊産婦一般健康診査（延べ人数） 658人 ・妊婦歯科健康診査 28人 ・乳児健康診査（延べ人数） 119人 ・1歳6か月児健康診査 74人 ・2歳6か月児歯科健診 74人 ・3歳児健康診査 69人 ・乳児訪問 48人 妊娠から乳幼児健診までの子どもと母親及び家族への支援体制を整えている。こども家庭センターの児童福祉機能や他関係機関との連携により、健診後のフォロー体制が構築されている。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○心の健康づくり・自殺予防対策事業費 仙北市では自殺対策計画を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのないまち」を目指している。関係各課、関係機関や各種市民団体と連携しながら、こころの相談事業やゲートキーパー養成等の人材育成事業、心の健康づくり研修会・自殺予防街頭キャンペーン等の普及啓発事業、中高生に対する若年層対策事業、自殺未遂者支援事業等を行っている。	○心の健康づくり・自殺予防対策事業費 2,201,700円 ・笑いの会 2回 33人 ・こころの相談 66回 116人 ・えくぼの会、かだれ（傾聴活動） 36回 355人 ・こころのゲートキーパー養成講座 6回 95人 ・こころのゲートキーパーフォローアップ講座 1回 10人 ・地区会館での健康教育 7回 75人 ・若年層啓発・リーフレット配布 4回 1,670人 ・街頭キャンペーン 5か所 353人 ・自殺予防啓発・リーフレット配布 56か所 763人 ・自殺未遂者支援職員研修会 1回 39人 ・自殺対策推進協議会 1回 23人 ・こころの健康づくり研修会 1回 84人 ・SOSの出し方講座 10校 252人 令和6年3月策定の第2期仙北市自殺対策計画に基づき各事業を実施し、令和7年度のこころの相談は延べ116人、ゲートキーパー等の人材育成は延べ95人、街頭キャンペーンは延べ353人に行った。直近5年間の市内自殺者数は年間10人前後で推移し、長期的にみると緩やかに減少している。
				○安心子育て応援事業費 妊産婦及び乳幼児、保護者等へ切れ目ない支援（訪問・各種相談・教室の開催等）による個別支援の充実・体制強化を図り、安心して育児ができる環境づくりに努める。	○安心子育て応援事業費 8,762,039円 ・プラン作成件数 128 件 ・乳児離乳食教室 12回 90 人 ・こんにちは赤ちゃん教室（延べ人数） 8回 47 人 ・おやこで楽しむふれあい講座（延べ人数） 12回 87 人 個別相談できる体制を整え、妊娠期の早期から子育て期まで対応できるようにしている。各教室では親同士が交流できる時間を設け、育児中の親の孤立化防止対策の体制づくりが構築されてきている。
				○歯と口腔の健康づくり推進事業費 幼児から小中学生に対してフッ化物洗口事業を実施することで、こどもの虫歯予防だけでなく、将来の歯科疾患予防に向けた歯のケアの必要性について意識づけしていく。	○歯と口腔の健康づくり推進事業費 1,132,128円 ・幼児歯科フッ化物塗布 52人 ・2歳6か月児歯科健康教室 74人 ・巡回歯科指導（保育園、認定こども園）（延べ人数） 135人 ・フッ化物洗口実施者数 1,162人 年長児、小・中学生（希望者対象）のフッ化物洗口を継続実施することで、虫歯予防に対する児童生徒の歯科疾患予防に対する意識付けの体制が構築されてきている。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○PHR管理運営事業費 マイナポータルに紐付けられたPHRを活用して健康に関するデータを一元管理し、専用のアプリにより可視化させることで市民のセルフケア意識を向上させ、市全体として健康寿命延伸を目指す	○PHR管理運営事業費 10,063,900円 ・PHR企画・運営業務委託 10,000,100円 ・アプリダウンロード数 317件 総合政策審議会による事務事業評価にて廃止の判定を受け、市として検討した結果、令和7年度末をもって事業を中止することとなった。
				○仙北ウェルビーイング地域医療 ・総合診療連携講座開設事業費 秋田大学医学部と仙北市が共同で寄附講座を設置。市立角館総合病院をフィールドとして秋田大学から指導医を派遣し、総合診療医の育成や診療などを行う。	○仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座開設事業費 9,000,000円 次の取組により地域医療人材の育成や確保を推進した。 ・総合診療医1名派遣による地域医療の継続可能性に係る研究。 ・研修医や地域医療実習生等への講義及び指導。 ・総合診療医の研修プログラム開発に係る研究。 ・学会発表等による研究の成果に関する普及啓発。 など
				○医療人材確保対策事業費 市内公立病院等で業務に従事する医学生等を対象に医師等修学資金貸付金を貸与し、就業を促すことで医師・看護師を含む医療従事者の確保を図る。	○医療人材確保対策事業費 1,245,200円 ・看護師等修学資金貸付金 1,200,000円 令和8年度より市立角館総合病院にて採用した2人に対して貸付し、将来の仙北市における看護師の充実に寄与した。
				○公的医療機関運営費補助金 二次医療圏内で中核的役割を担う大曲厚生医療センターの安定した医療の提供を目的とし運営費の一部を補助する。	○公的医療機関運営費補助金 6,900,000円 補助金を交付することで、救急医療及び小児医療の機能強化並びに地域医療の充実に寄与した。
				○がん患者補正具購入費補助金 がん患者の就労や社会参加を支援するため、補正具購入費に対して助成する。	○がん患者補正具購入費補助金 497,830円 ・頭髮補正具 10件 390,640円 ・乳房補正具 5件 107,190円 がん補正具の購入費を一部助成することで、経済的負担の軽減とQOL向上に寄与した。
				○特定不妊治療費等助成金 特定不妊治療等を受けている市内居住夫婦に対し費用の一部を助成することで、妊娠・出産を支援するとともに、経済的負担を軽減する。	○特定不妊治療費等助成金 358,139円 ・特定不妊治療 6件 324,044円 ・一般不妊治療 1件 34,095円 治療費の一部を助成することで、こどもを希望する夫婦の経済的負担の軽減となり、少子化対策にも寄与している。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○予防事業費 予防接種法に基づき、各種予防接種を行い免疫の確保と疾病を予防する。また、感染症蔓延防止のため地域への周知活動を行い、市民の健康維持に努める。 ヒトパピローマウイルス（HPV）予防接種では、積極的勧奨が行われなかった平成9年度から平成19年度生まれの方に対してキャッチアップ接種とし、令和4年度から令和6年度の3年間を定期接種として実施していた。また、令和7年度は上記の者に対して過去1回以上の接種歴がある場合に限り、定期接種として実施する。	○保健課事業費分 22,313,675円 ・高齢者インフルエンザ予防接種 5,072人 ・新型コロナウイルス感染症予防接種 551人 ・高齢者肺炎球菌予防接種 96人 ・帯状疱疹ワクチン予防接種（延べ人数） 1,283人 感染症の蔓延防止につながっており、身体への負担と経済的負担の軽減となった。 ○こども家庭センター事業費分 25,306,294円 ・五種混合予防接種（延べ人数） 219人 ・四種混合予防接種（延べ人数） 32人 ・二種混合予防接種 106人 ・麻しん、風しん予防接種（延べ人数） 144人 ・日本脳炎予防接種（延べ人数） 319人 ・BCG予防接種 55人 ・ヒブ予防接種（延べ人数） 5人 ・小児用肺炎球菌予防接種（延べ人数） 223人 ・ヒトパピローマウイルス予防接種（延べ人数） 204人 ・水痘予防接種（延べ人数） 138人 ・B型肝炎予防接種（延べ人数） 155人 ・ロタウイルス予防接種（延べ人数） 119人 ・若年者等インフルエンザ予防接種（延べ人数） 1,335人 ・おたふくかぜ予防接種（延べ人数） 108人 ・大人の風しん予防接種 9人 電子母子手帳サービス「母子モ」や市広報等による市民への感染症予防の周知活動による蔓延防止対策を実施しているとともに、個々の身体及び経済的負担の軽減に繋がっている。
				○健康増進事業費 ・各種健（検）診 高齢化社会の中で、疾病予防や健康づくりのほか、保健指導や食生活改善等一貫した保健サービスの確立を目指すし実施する。	○健康増進事業費 22,206,889円 ・各種健（検）診 一般健診 31人 胃がん検診 797人 大腸がん検診 1,219人 子宮がん検診 257人 乳がん検診 301人 前立腺がん検診 876人 骨粗しょう症検診 87人 肝炎ウィルス検診 65人 肺がん検診 2,307人 歯周疾患検診 98人 健（検）診の必要性について、広報やホームページへの掲載、LINE配信、老人クラブなど健康教育の場で説明することにより周知した。また、受診者に対しては結果説明会や訪問指導を実施し、生活習慣病予防及び行動変容に結びつけた。
				○大腸がん予防事業費 日本医療研究開発機構の研究事業である大腸がん検診の研究（比較試験）に参画する中で、仙北市における大腸がんによる死亡者の撲滅を目指す。	○大腸がん予防事業費 5,302,102円 ・受診者数 1,674人 人口動態により対象者は減っているものの、受診勧奨により一定した受診率維持に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○MR I 検診補助金 市立角館総合病院が導入した無痛MR I 乳がん検診を活用し、従来実施していたマンモグラフィに加え多様な検診方法を提供することにより検診の機会を増やす。	○MR I 検診補助金 432,990円 ・受診者数 39人 検診費の一部を助成することで、経済的負担の軽減に寄与した。
				○浄化槽設置整備事業費 循環型社会形成推進地域計画に基づき浄化槽整備を実施する。 ・循環型社会形成推進交付金（個人設置型合併浄化槽） 5人槽 22 基 7人槽 3 基 計 25 基 ・単独 5人槽 2 基 7人槽 0 基 計 2 基	○浄化槽設置整備事業費 8,063,000円 ・循環型社会形成推進交付金 8,052,000円 5人槽 17基（390,000円×17基＝6,630,000円） 7人槽 3基（474,000円× 3基＝1,422,000円） 計 20基 （財源内訳） 国費 3,334千円 県費 2,684千円 市費 2,034千円 計 8,052千円 ・単独分 0円 5人槽 0基（390,000円× 0基＝0円） ・通信運搬費 11,000円 集合処理区域外で、浄化槽の普及率の向上を目的に雑排水対策を推進し、環境保全に寄与した。
				○不法投棄監視費 市内各地に不法投棄されるごみの対策として、監視員を配置し巡回パトロールを行う。また、不法投棄禁止の看板設置により、環境美化の意識高揚を図る。	○不法投棄監視費 235,757円 ・回収件数 8件 ・処理物品 タイヤ 6本、冷蔵庫（小） 1台、テレビ（小） 1台 洗濯機 1台 不法投棄監視員による巡回を田沢湖・角館・西木の3地区で行い、山間部を中心に巡回し発見に寄与した。投棄者の確認ができるものや悪質な案件に対しては警察に届け、摘発に努めている。また、啓発看板や立札、監視カメラを設置し防止に努めている。
				○猫不妊去勢手術費補助金交付事業費 猫の望まれない繁殖の抑制及び近隣住民の生活環境悪化を未然に防止し市民生活の向上を図るため、その費用の一部を補助する。	○猫不妊去勢手術費補助金交付事業 88,000円 ・猫不妊去勢手術費補助金（オス6匹、メス5匹） 86,000円 ・通信運搬費 2,000円 手術を実施したことにより新たな繁殖が抑制されたと見込まれ、地域における野良猫の増加傾向に一定の歯止めがかかったと考える。 （猫は年2回から3回出産し、1回につき4～6匹の子猫を産むとされており、推定値で約90匹を抑制 出典：公益社団法人日本動物福祉協会）

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○歯科診療所管理運営費 市民の歯科衛生の向上を目指し、歯科診療・健診業務を行う。	○歯科診療所管理運営費 31,786,026円 ・診察日数 224日 ・患者数（延べ） 5,098人 ・1日当たり患者数 22.75人 ・患者1人当たり費用額 7,392.97円 設備の老朽化がみられるが診察台を更新するなどにより診療環境を整え、患者に配慮した診療を行い地域医療に貢献している。
				○西明寺診療所管理運営費 市民の疾病の予防と治療に努め、健康の保持増進を図る。	○西明寺診療所管理運営費 43,380,582円 ・西明寺診療所 診療日数 234日 患者数 10,745人 1日平均 45.9人 ・桜木内診療所 診療日数 47日 患者数 103人 1日平均 2.2人 ・清流苑 診療日数 44日 患者数 1,068人 1日平均 24.3人 日常の診療、往診、在宅医療、住民健診、予防接種などを継続し、へき地診療所として地域医療に貢献している。
				○国民健康保険特別会計神代診療施設 勘定繰出金 地域における医療の確保、健康の保持・増進を図るため、仙北市国民健康保険神代診療所の運営に係る経費を繰り出す。	○国民健康保険特別会計神代診療施設勘定繰出金 44,054,000円 ・神代診療所 診療日数 189日 患者数 3,855人 1日平均 20.40人 神代地区を中心として、地域における医療の確保、健康の保持・増進に寄与している。
				○医療M a a S 管理運営事業費 医療機関への受診が容易な市民と、困難な市民との医療格差を解消するため、医療M a a S 車両による遠隔診療体制を整備・運営する。	○医療M a a S 管理運営事業費 12,925,269円 ・医療M a a S 企画・運營業務委託料 4,554,440円 ・利用回数 175回 西明寺診療所への通院が困難な患者を対象としたオンライン診療を行っており、交通弱者の医療格差解消に寄与した。
				○市民浴場管理運営費 温泉を利用した市民の憩いと心身の保養を図る。 指定管理者として、(株)おもてなしせんぱくが管理業務を行っている。	○市民浴場管理運営費 20,469,503円 ・利用者総数 18,651人 内訳 { 当日券利用者 9,484人 割引券利用者 7,859人 無料利用者（小学生以下、障がい者） 739人 仙北市民憩いの日利用 569人 ・営業日数 184日 ・1日当たり利用者数 101人 ・入湯料 6,514,350円 ・入湯税 2,706,450円 令和7年10月より源泉の不調のため臨時休業としている。

4 款 衛 生 費 2 項 水 道 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
173, 778, 000	153, 810, 552	19, 500, 000	467, 448	○水道事業会計補助金 地方公営企業繰出金通知に基づき要求される経費を計上する。	○水道事業会計補助金 141, 524, 000円 地方公営企業法に定める経営に関する基本原則を堅持しながら、地方公営企業の経営健全化を推進し、その経営基盤を強化するため水道事業会計に繰出しを行う。
				○小規模水道管理運営費（相内潟・大場・潟尻） 安全・安心な水道水の供給を安定的に行うための管理運営に係る事業を実施する。	○小規模水道管理運営費 12, 286, 552円 ・年度末給水戸数 39戸 ・総使用水量 5, 580m ³ 水道設備の維持管理、老朽化した設備の更新等を適切に行うことで、安心・安全な水道水を安定的に供給した。

4 款 衛 生 費 3 項 病 院 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1, 100, 000, 000	1, 100, 000, 000	0	0	○病院事業会計補助金 地方公営企業法の規定に基づき一般会計から病院事業会計に補助金を繰り出しする。	○病院事業会計補助金 1, 100, 000, 000円 ・田沢湖病院 300, 000, 000円 ・角館総合病院 800, 000, 000円 安定的な病院運営を支援した。

4 款 衛 生 費 4 項 清 掃 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
853, 328, 000	851, 851, 007	0	1, 476, 993	○廃棄物減量化対策費 計画収集により回収した資源ごみを適切に再資源化する。	○廃棄物減量化対策費 472, 526円 ・再資源化実績 資源びん7, 660kg、発泡スチロール825kg 資源ごみの適切な処理、及び、減量化が図られた。
				○塵芥処理費 一般家庭から排出される廃棄物の安定した収集運搬等を行う。	○塵芥処理費 84, 055, 037円 ・一般廃棄物収集運搬業務委託料 家庭ごみ収集カレンダーに基づき、ごみ集積所からの収集運搬を滞りなく行った。

5 款 労 働 費 1 項 労 働 諸 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
75,685,000	75,576,032	0	108,968	○雇用創出助成金 若者や新規就業者の職場定着と経営環境改善を目的とした勤労者対策・就労支援・経営支援を実施する。	○就職支援・職場安定対策事業費 240,400円 ・使用料及び賃借料 202,400円 ・その他（報償費、需用費等） 38,000円 高校生を対象に市内企業の事業所視察会を実施し、地元就職編の関心を高めた。また、就職活動支援を目的として面接講座を実施した。

6 款 農 林 水 産 業 費 1 項 農 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
997,604,000	892,940,605	62,971,000	41,692,395	○機構集積支援事業費 農地の利用状況調査に係る市内全域の農地パトロールの実施や遊休農地の所在把握、所有者への農地利用意向の意思確認を行うなど、遊休農地等の解消や有効利用の促進を図る。	○機構集積支援事業費 351,145円 ・調査計画等決定のための会議・資料作成 176,215円 ・利用上の調査の記録及び保存 163,930円 ・利用意向調査 11,000円 農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地パトロールで遊休農地の現状を確認し、所有者等に対して解消の働きかけに努め、約4.8haの遊休農地の解消に繋がった。
				○農地利用最適化交付金事業費 農業委員会の積極的な活動を推進するため、農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動及び成果の実績に応じ、農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬及び農地利用の最適化活動を支援する。	○農地利用最適化交付金事業費 5,103,420円 ・推進委員等による最適化活動推進事業推進委員等の報酬 4,527,000円 所有者等に対する意向調査 0円 ・農地利用の最適化の推進のための支援事業 576,420円 農地の出し手・受け手のニーズをマッチングさせる委員活動を推進することで、農地利用最適化の推進に寄与した。農地集積・集約化の活動により令和7年は129haの農地が新たに担い手へ集積された。
				○中山間地域等直接支払事業費 農業生産上、条件が不利となる中山間地域において、荒廃が懸念される農地を対象として、共同取組活動を推進し、耕作放棄地の抑制や多面的機能を確保する。	○中山間地域等直接支払事業費 10,558,268円 ・補助金 10,356,166円 （うち国費 5,178,080円 うち県費 2,589,038円） ・需用費、役務費 202,102円 （うち国費 200,000円） 補助金が、市内の10集落協定（田沢湖地区7、角館地区2、西木地区1）により効果的に活用され、条件不利農地での営農及び農地保全、活動の確保に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○グリーンツーリズム推進事業費 農家民宿・農家レストランの支援及びアウトドアを含む各種体験の受け入れ基盤を整備しつつ、観光施設等の連携を強化し、滞在時間の拡大を目指す。	○グリーンツーリズム推進事業費 1,411,514円 ・秋田花まるっグリーンツーリズム推進協議会負担: 200,000円 ・仙北市農山村体験推進協議会補助金 700,000円 ・グリーンツーリズムPRリーフレット増刷代 304,700円 (日本語1,500部・英語500部 繁体字2,000部・タイ語500部) ・農泊みらいフォーラム等参加旅費 78,236円 ・消耗品、電話料ほか諸経費 128,578円 グリーンツーリズム施設の多言語パンフレットを増刷し、国内外でのセールス活動等で活用した。また、農山村体験推進協議会と連携した農泊団体の受け入れや、全国の農泊関係者が集うフォーラムへの参加を通じてネットワークの構築を図るなど、誘客に向けた取り組みを推進した。 令和7年の農家民宿等全体の宿泊者数は16,686人。クマ出没の影響により前年と比較して減少したものの、外国人宿泊者は4,316人と着実に増加している。あわせて、予算を伴わない取り組みとして、市内農家民宿等を対象とした座談会を開催し、意見交換や情報共有の場を設けた。
				○経営所得安定対策推進事業費 対象事業への取組に対して国が交付金を交付し、農業経営所得の安定化を図る。	○経営所得安定対策推進事業費 10,009,962円 (うち国費 9,371,000円) ・生産調整事務補助 5,195,362円 ・水田管理システム使用料 831,600円 ・補助金(仙北市地域農業再生協議会へ) 3,983,000円 補助金を活用し、交付金の交付事務を円滑に進め、農家の経営所得の安定に寄与した。
				○仙北市畑作園芸等振興事業費補助金 園芸作物等の産地を育成するため、畑作物の生産性向上、省力化、規模拡大を目的とした農業者に対し、必要な機械・資材等の導入を支援する。	○仙北市畑作園芸等振興事業費補助金 1,859,000円 ・交付件数 7件 (機械4件、ハウス等2件、種苗1件) 園芸作物の新規作付・規模拡大に向けた、機械・資材などの導入に支援し、米偏重の農業経営からの脱却、高収益作物等の産地づくり化の推進に寄与した。
				○新規就農総合支援事業費補助金 青年の新規就農と就農後の定着を図るための経営安定を支援し、地域農業の担い手を育成する。	○新規就農総合支援事業費補助金 6,750,000円 (うち国費 6,750,000円) ・交付件数 5人 (経営開始資金 継続3人 新規2人) 新規就農者の安定的な経営に向けた取組に支援し、新規就農者の確保、育成を推進した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○地域で学べ！農業技術研修費補助金 新規就農に向けた農業技術習得研修に支援し、地域農業の担い手を育成する。	○地域で学べ！農業技術研修費補助金 900,000円 (うち県費 450,000円) ・交付件数 1人(新規) 農業技術習得に向けた研修や活動に支援し、新規就農に向けた青年農業者の育成に寄与した。
				○農業用マルチコプター導入事業費等補助金 農業用マルチコプターの導入及び技能取得に対し補助し、農作業の省力化や効率化を図る。	○農業用マルチコプター導入事業費等補助金 1,660,000円 ・機体取得助成 3件 1,429,000円 ・技能認定証取得助成 3件 231,000円 農業用マルチコプターの導入により適期防除の推進や作業時間、労働負担が軽減され、効率的な農業経営の促進に寄与した。
				○農地利用効率化等支援交付金 地域の中核となる担い手の農地引受能力向上に支援し、地域計画の早期実現を後押しする。	○農地利用効率化等支援交付金 8,676,000円 (うち国費 8,676,000円) ・交付件数 4台(トラクター2台、田植機、乾燥機) 機械の導入支援により、地域の中核となる担い手の経営力強化につながり、地域計画の早期実現の推進に寄与した。
				○夢ある園芸産地創造事業費補助金 米依存からの脱却に向けた戦略作物の産地化と収益性の高い農業経営の確立を図る。	○夢ある園芸産地創造事業費補助金 22,971,000円 (うち県費 18,050,000円) ・生産性向上 8件(種苗、ハウス、機械等) 12,439,000円 ・就農定着 1件(栽培棚一式) 4,084,000円 ・食料供給力向上 1件(ハウス等) 6,448,000円 米依存からの脱却に向けた作物への取組に支援し、収益性の高い農業経営の推進に寄与した。
				○秋田アグリフロンティア育成研修費補助金 新規就農を目指す若者を対象とし、秋田県農業試験場等で研修する研修生に助成する。	○秋田アグリフロンティア育成研修費補助金 2,400,000円 (うち県費 1,260,000円) ・交付件数 2人(継続1人 新規1人) 農業で自立しようとする意欲を後押しし、市内新規就農者の育成・確保につながった。
				○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金(令和6年大雨) 農業 令和6年7月の大雨被害を受けた農業者の営農継続に向けた取組に対し助成する。	○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金 208,000円 (令和6年大雨) (うち県費 208,000円) ・交付件数 2件(種苗購入) 大雨被害からの復旧に必要な野菜や花き等の種苗購入費用に対し支援し営農の復旧・継続に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○未来へつなぐ元気な農山村創造事業費補助金 多様な人材の参画のもと、農福連携をはじめ他分野事業の連携を通じて雇用機会の確保や所得向上に取り組む。	○未来へつなぐ元気な農山村創造事業費補助金 600,000円 (うち県費 300,000円) ・交付件数 1件 (プラン策定の活動) 農福連携を軸とした新ビジネスや雇用機会の創出を目指し、協議会の今後の取組方針や活動内容等を示した「未来へつなぐ元気な農山村創造プラン」が策定された。
				○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金 (令和7年大雨) 農業 令和7年8月の大雨被害を受けた農業者の営農継続に向けた取組に対し助成する。	○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金 114,000円 (うち県費 114,000円) ・交付件数 5台 (農業用機械修繕) 大雨被害で被災した農業生産機械の修繕費用に対し支援し営農の復旧・継続に寄与した。
				○大覚野牧場管理運営費 牧場環境及び作業機械等の維持管理を行い、肉用牛農家の預託放牧、乾草の生産販売等を実施する。	○大覚野牧場管理運営費 10,063,436円 ・放牧料、乾草販売収入 4,170,500円 ・主な経費 会計年度任用職員報酬等 (2人+短期2人) 4,361,086円 作業機械等燃料費 (軽油) 606,399円 作業機械等修繕料 1,326,105円 牧場維持管理原材料費 (肥料、牧柵等) 2,078,312円 牧場環境の整備及び作業機械等を適切に維持管理し、放牧牛の受入れ、乾草の生産販売を行うことにより、畜産農業経営の省力化、飼料コスト低減に寄与した。
				○仙北市堆肥センター管理運営費 堆肥センター施設及び作業機械等を維持管理し、家畜排泄物の受入れ、堆肥生産・販売を行う。	○仙北市堆肥センター管理運営費 16,234,842円 ・堆肥販売収入、施設使用料等 3,121,460円 ・主な経費 会計年度任用職員報酬等 (2人) 7,997,883円 電気料 (大型攪拌機、送風機等) 1,293,540円 作業機械等修繕料 3,257,254円 屋根修繕料 (風害) 858,000円 堆肥センター施設の整備及び作業機械等を適切に維持管理し、堆肥の生産・販売を行うことにより、家畜排泄物の適正な処理の促進とともに資源循環型農業の取組に寄与した。
				○家畜導入事業費補助金 育種価評価に基づき発育、資質ともに優れた育成子畜を家畜市場等より導入し、家畜改良の促進、優良子畜生産基盤の確立に資する。	○家畜導入事業費補助金 2,010,000円 ・優良雌牛導入事業 4頭 240,000円 ・優良牛自家保留事業 11頭 330,000円 ・肥育素牛導入事業 69頭 1,440,000円 発育、資質の優れた雌牛や素牛の導入に対し支援し、家畜改良の促進、優良子畜生産基盤の確立推進に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金 優れた繁殖雌牛の導入及び機械や牛舎の整備に対し支援し、家畜改良の促進、優良牛生産基盤の確立に資する。	○夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金 13,655,000円 (うち県費 10,896,000円) ・繁殖雌牛導入型 2頭 466,000円 ・自給飼料生産拡大 1台 (牧草ラッピングマシン) 653,000円 ・施設整備 1件 (牛舎整備3棟) 12,536,000円 繁殖用雌牛の増頭及び機械導入、牛舎整備に対し支援し、畜産経営の推進に寄与した。
				○農地集積加速化基盤整備事業費 田沢湖生保内南地区・田沢湖神代地区の農地集積加速化基盤整備事業に対して負担する。	○農地集積加速化基盤整備事業費 94,818,000円 ・事業対象：神代地区 負担金 (事業費負担) 9,800,000円 ・事業対象：生保内南地区中心経営体集積促進事業費補助金 83,478,000円 ・事業対象：生保内南地区促進計画変更業務委託費 1,540,000円 【繰越明許】 28,200,000円 ・事業対象：神代地区 負担金 (事業費負担) 28,200,000円 農地・水路・農道を一体で整備することにより、大型機械の導入が可能となり作業効率の向上が見込まれる。また、汎用田化し農業法人に集約することにより、大規模経営が可能となり、多品目の作物を作付することができ、農業収入の増加が見込まれる。
				○多面的機能支払交付金事業費 農地・農業用施設の保全や地域環境の保全、地域コミュニティの活性化を推進するため共同活動への支援を実施し、地域全体の保全管理の取組強化を図る。	○多面的機能支払交付金事業費 176,090,353円 ・事業対象：角館地区＝14組織 田沢湖地区＝16組織 西木地区＝19組織 計 49組織 報 酬： 2,462,836円 手当等： 982,138円 共済費： 588,063円 旅 費： 24,000円 需用費： 651,820円 役務費： 218,740円 賃借料： 430,536円 補助金：農地維持 106,709,700円 資源向上 64,022,520円 農家のみならず非農家を含む地域住民による共同活動や地域交流により、農業の有する防災機能及び自然環境の保全等機能が維持管理された。
				○農地中間管理機構関連ほ場整備事業費 角館中川地区・角館大瀬蔵野地区・西木長戸呂地区の農地中間管理機構関連ほ場整備事業に対して負担する	○農地中間管理機構関連ほ場整備事業費 6,060,000円 ・事業対象：中川地区 負担金 (事業費負担) 2,140,000円 ・事業対象：大瀬蔵野地区 負担金 (事業費負担) 2,720,000円 ・事業対象：長戸呂地区農用地等集団化事業 1,200,000円 【繰越明許】 71,560,000円 ・事業対象：中川地区 負担金 (事業費負担) 22,100,000円 ・事業対象：大瀬蔵野地区 負担金 (事業費負担) 49,460,000円 農地・水路・農道を一体で整備することにより、大型機械の導入が可能となり作業効率の向上が見込まれる。また、汎用田化し農業法人に集約することにより、大規模経営が可能となり、多品目の作物を作付することができ、農業収入の増加が見込まれる。

6 款 農 林 水 産 業 費 2 項 林 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
199, 009, 000	194, 562, 179	0	4, 446, 821	○有害鳥獣駆除事業費 農産物・林産物被害及び人的被害防止のため、有害鳥獣駆除を実施するとともに、侵入防止柵設置費用の一部を補助する。急増するイノシシ・ツキノワグマへの対応策を強化するとともに、新規猟友会員の増加を図る。	○有害鳥獣駆除事業費 18, 947, 794円 ・有害鳥獣捕獲に係る報酬 13, 636, 000円 ・出動延べ人数 田沢湖10, 397人、角館1, 365人、西木1, 229人 ・電気柵導入補助 13件 515, 000円 令和7年度のクマの有害鳥獣捕獲頭数は159頭。農林産物の被害軽減、住民の生命・身体等に係る被害を防止した。
				○林道維持補修費 インフラ長寿命化対策として、林道改良事業費補助金を活用して林道橋の点検診断を行い、必要があれば補修する。主に森林環境譲与税を財源に実施する。	○林道維持補修費 52, 540, 400円 ・橋梁補修設計業務 2件 19, 581, 100円 ・林道維持作業委託 98路線 32, 675, 000円 草刈りや洗掘補修・土砂撤去などにより林道の荒廃を防止するとともに、林道橋点検診断により補修の要否について把握に努めた。
				○森林経営管理制度事業費 管理の行届いていない私有林人工林の整備促進を図るため、森林所有者の調査や整備に関する意向確認、林地台帳の整備、経営管理権集積計画の策定等を実施する。	○森林経営管理制度事業費 25, 252, 901円 ・経営管理意向調査業務 1, 793, 000円 ・経営管理権集積計画作成業務 658, 900円 ・経営管理権設定森林間伐業務 2, 797, 300円 ・森林情報デジタル化推進事業負担金 19, 592, 504円 近年手入れをしていない人工林の森林整備が実施され、林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮に寄与した。
				○マツ林・ナラ林等景観向上事業費 松食い虫やカシノナガキクイムシによる枯死木を、景観維持や安全対策として伐採及び搬出処理を実施する。	○マツ林・ナラ林等景観向上事業費 4, 855, 180円 ・かたまえ山森林公園・田沢湖キャンプ場ナラ枯れ伐倒業務 4, 250, 180円 枯死木の伐倒除去することで、公園の景観を改善しながら利用者の安全を確保することができた。
				○秋田林業大学校研修費補助金 地域を支える若手林業技術者を育成するため、秋田林業大学校における研修費の一部を助成する。	○秋田林業大学校研修費補助金 356, 400円 ・補助金利用者数 3名 秋田林業大学校に在籍する1年生1名、2年生2名に対し補助を行うことで、地域を支える若き林業技術者の育成に寄与した。
				○再造林支援事業費補助金 森林の有する公益的機能の発揮と林業の持続的発展のため、私有林人工林における植栽・下刈りへの補助を行う。	○再造林支援事業費補助金 2, 646, 000円 植栽面積 6. 42ha 下刈り面積 23. 05ha 森林経営計画策定森林において、植栽・下刈りへ補助を行った。
				○人材育成・担い手支援事業費補助金 林業担い手確保のため、新規正規雇用者1人あたり15万円を林業経営者へ支援する。	○人材育成・担い手支援事業費補助金 600, 000円 新規雇用者 4人 林業経営体に対し補助金を交付することで、地域の林業担い手確保に寄与した。

6 款 農 林 水 産 業 費 3 項 水 産 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1, 162, 000	1, 162, 000	0	0	○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金（令和7年大雨）水産 令和7年8月の大雨被害を受けた水産業者の経営継続に向けた取組に対し助成する。	○農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金 862, 000円 （令和7年大雨）水産（うち県費 862, 000円） ・交付件数：1件（稚魚購入、施設修繕） 大雨被害からの復旧に必要となる稚魚の購入費用及び養魚施設修繕費用に対し支援し漁業経営の復旧・継続に寄与した。

7 款 商 工 費 1 項 商 工 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
866, 335, 000	845, 424, 437	12, 890, 000	8, 020, 563	○特産物販売促進対策費 首都圏で開催される観光物産展の参加に係る経費に加え、市内の小規模事業者の出店等販売活動に係る経費の一部を支援する。	○特産物販売促進対策費 687, 216円 ・旅費 493, 211円 令和元年より町田市「ぽっぽ町田」で開催している観光物産展「山の楽市」に参加し、市の観光や特産品のPRを行ったほか、首都圏の物産展に出展した。 ・使用料及び賃借料 50, 000円 これが秋田だ！食と芸能大祭典2025 市町村PRブース出展料。全市町村が参加し、毎年5月に開催される。市内のお土産等を市内業者から預かり、PRブースで販売を行う。パンフレット等も多く配布し、市特産品や観光地の魅力を効果的にアピールし、来場者の関心を引いた。 ・物産展出店支援事業補助金 118, 000円 補助対象：4事業者（内 首都圏での参加事業者：3事業者） 市内の小規模企業者が首都圏等で開催されるイベント等に出向いて行う市内産品の販売活動に要する経費の一部を補助し、市内産品の販売促進に寄与した。
				○企業誘致対策事業費 企業誘致活動及び工業団地の維持管理を実施する。	○企業誘致対策事業費 1, 566, 674円 ・県派遣職員等企業誘致関連旅費 356, 610円 ・草刈・植木剪定・支柱撤去作業委託料 387, 974円 ・仙北市視察ツアーに係るマーケティング業務委託 618, 750円 ・仙北市視察ツアー施設借上料 117, 200円 ・その他 需要費・役務費 86, 140円 企業誘致に向けて、秋田県庁出向職員の企業誘致活動、仙北市視察ツアー及びPR動画の作成、田沢湖黒沢工業団地の維持管理に努めた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○地域活性化起業人制度負担金 三大都市圏に所在する企業と地方圏の自治体が協定に基づき社員を一定期間派遣し、即戦力人材として業務に従事し地域活性化を図る。	○地域活性化起業人制度負担金 4,500,000円 ・負担金(1件) 4,500,000円 起業人のノウハウとネットワークを最大限に活かし、仙北市企業誘致ツアーの開催(1回)、企業誘致(1社)、連携協定の締結(1件)を実現するなど、雇用対策や企業誘致等の事業を通じて地域経済の活性化に寄与した。
				○仙北市商工会補助金 商工業をめぐる地域の諸課題に的確に対応していくため、仙北市商工会の活動を支援する。	○仙北市商工会補助金 10,100,000円 ・通常事業分 6,600,000円 企業に対して各種融資制度の斡旋や専門家等派遣による支援を行い、地元企業の活性化を図るとともに、経営能力向上やネットワーク拡充を目的としたセミナーを開催し、若手経営者や女性経営者の育成に寄与した。 ・観光と物産展 山の楽市 2,300,000円 東京都町田市ぽっぽ町田を会場に物産展「山の楽市」を、10月17日～19日、12月19日～21日の2回開催した。開催期間の売上合計金額は10月開催が約4,731,000円、12月開催が約5,979,000円、合計約10,710,000円(前年比約2,184,000円増)と前年度より増加した。リピーターの方の利用も多く、市内特産品の販路開拓と継続的な活性化に寄与した。 ・商店街賑わい創出事業 407,000円 2月14日～3月3日まで昔から受け継がれているお雛様を展示する「角館雛めぐり」を開催し中心市街地の賑わいを創出した。 ・市内起業家育成支援事業 600,000円 起業、創業を希望する受講者17名に対して創業に係る基礎知識の習得を目的としたセミナーを3回(11月2日、9日、16日の3日間)開催し、創業しやすい環境の整備に寄与した。 ・商店街賑わい支援事業 193,000円 地域の消費拡大を図るとともに立町地区を中心とした角館中心市街地の活性化を図るため、「立町商店会 秋の感謝セール大抽選会」を行った。
				○空き店舗等利活用事業費補助金 空き店舗を活用し、賑わいある商店街づくりを推進する。	○空き店舗等利活用事業費補助金 537,000円 ・補助対象：2事業者 シェアオフィス(2) 空き店舗を活用した事業者に対して店舗賃借料の一部を支援し、空き店舗解消を促進するとともに新規創業を生み出した。
				○企業立地奨励金 産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業立地促進条例に定められた奨励金を交付する。	○企業立地奨励金 7,692,900円 ・固定資産税相当額奨励金(5社) 7,692,900円 奨励金の交付により、市内企業の事業拡大を促進し雇用機会の拡大に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																														
				計画	実績及び効果																													
				○観光施設維持管理費 国立公園、県立公園や各施設を訪れる観光客の安全と適正利用を図る。	○観光施設維持管理費35,325,047円 ・報酬1,320,448円 ・職員手当等379,628円 ・共済費265,103円 ・旅費230,140円 ・需用費6,335,471円 ・役務費2,803,632円 ・委託料20,232,343円 ・使用料及び賃借料1,444,316円 ・工事請負費2,244,000円 ・原材料費69,966円 各観光施設の経常的な維持管理のほか、利便性を高めるための刺巻湿原木道新設工事を行うことで、安心安全で快適な環境の整備を行った。																													
				○観光宣伝費 観光誘客の促進に向けて、ガイドマップなどの増刷やSNSなどを活用した広告宣伝のデジタル化を通じたプロモーション活動や観光キャンペーンを実施する。	○観光宣伝費4,174,823円 ・広告料767,200円<table><tr><td>雑誌等広告</td><td>映像等広告</td></tr><tr><td>6件</td><td>1件</td></tr></table> ・パンフレット等印刷1,727,000円<table><tr><td>項目</td><td>数量</td></tr><tr><td>仙北市観光案内マップ（おもむくままに）</td><td>40,000 部</td></tr><tr><td>仙北市温泉ガイドマップ</td><td>15,000 部</td></tr><tr><td>仙北市観光ガイドマップ</td><td>24,000 部</td></tr><tr><td>水ばしょう祭りリーフレット</td><td>5,000 部</td></tr></table> ・旅費592,535円 〈観光キャンペーン等の実施内容〉<table><tr><td>項目</td><td>場所</td><td>期日</td></tr><tr><td>大宮駅観光PRキャラバン</td><td>埼玉県</td><td>10月6日～10日</td></tr><tr><td>観光と物産「山の楽市」</td><td>東京都</td><td>10月17日～19日 12月19日～21日</td></tr><tr><td>大宮駅観光PRキャラバン</td><td>埼玉県</td><td>12月12日～16日</td></tr><tr><td>羽田産直館</td><td>東京都</td><td>2月28日～3月1日</td></tr></table> 仙北市、観光協会、各種自治体などで構成する協議会などで、市単独だけでなく広域の観光宣伝活動を実施したが、紅葉シーズンのクマの出没や冬季の豪雪による交通障害・通信障害の影響から、入込客数は令和6年度の3,900,872人に対し、令和7年度は3,871,381人と前年比で99.24%に減少。宿泊者数についても令和6年度483,181人に対し、令和7年度は473,928人と前年比で98.08%と減少になった。だが、そのうちの外国人宿泊者数については、令和6年度43,508人、令和7年度は57,152人と前年比131.4%と増加になった。	雑誌等広告	映像等広告	6件	1件	項目	数量	仙北市観光案内マップ（おもむくままに）	40,000 部	仙北市温泉ガイドマップ	15,000 部	仙北市観光ガイドマップ	24,000 部	水ばしょう祭りリーフレット	5,000 部	項目	場所	期日	大宮駅観光PRキャラバン	埼玉県	10月6日～10日	観光と物産「山の楽市」	東京都	10月17日～19日 12月19日～21日	大宮駅観光PRキャラバン	埼玉県	12月12日～16日	羽田産直館	東京都	2月28日～3月1日
雑誌等広告	映像等広告																																	
6件	1件																																	
項目	数量																																	
仙北市観光案内マップ（おもむくままに）	40,000 部																																	
仙北市温泉ガイドマップ	15,000 部																																	
仙北市観光ガイドマップ	24,000 部																																	
水ばしょう祭りリーフレット	5,000 部																																	
項目	場所	期日																																
大宮駅観光PRキャラバン	埼玉県	10月6日～10日																																
観光と物産「山の楽市」	東京都	10月17日～19日 12月19日～21日																																
大宮駅観光PRキャラバン	埼玉県	12月12日～16日																																
羽田産直館	東京都	2月28日～3月1日																																

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○観光施設整備事業費 玉川温泉園地歩道改修測量設計業務委託、駒ヶ岳八合目園地公衆トイレ改修工事、春山第2駐車場舗装改修工事の県事業費に対する仙北市分の負担金を計上する。	○観光施設整備事業費 4,366,230円 ・玉川温泉園地歩道改修測量設計業務委託 244,750円 ・駒ヶ岳八合目園地公衆トイレ改修工事 1,652,640円 ・春山第2駐車場舗装改修工事 2,468,840円 国立公園及び県立自然公園における、安心安全で快適な環境の整備に寄与した。
				○教育旅行支援事業費 県を代表する教育旅行の受け入れ地域として宮城県、北海道方面、岩手県に加え首都圏へターゲット地域を広げ誘致活動を実施する。	○教育旅行支援事業費 1,173,540円 ・教育旅行誘致活動事業業務委託 598,176円 ・教育旅行誘致キャラバン等参加旅費 186,922円 ・学習旅行パンフレット増刷代（1,500部） 264,000円 ・消耗品、通信運搬費、空港駐車場使用料ほか 124,442円 市内教育旅行事業関係者とともに宮城県への誘致キャラバンに加え、首都圏へターゲット地域を広げ誘致活動を実施したほか、東北管内の私立小学校、中学校、高校、教育学部のある大学へ教育旅行誘致資料を送付した。また、あきた広域観光誘客推進協議会や県観光連盟が主催する事業に参加し、北海道への誘致活動も展開した。令和7年の受入人数は13,953人、学校数は205校となった。
				○国際観光宣伝・誘客事業費 国、県、近隣市町村と連携し、台湾をはじめとする国際交流及びインバウンドの誘客活動、多言語パンフレットの増刷等を実施する。	○国際観光宣伝・誘客事業費 897,130円 ・翻訳・通訳同行等報酬 155,942円 ・台湾エージェンツセールス旅費 17,686円 ・台湾親善大使への特産品提供・名刺印刷 12,730円 ・観光ガイドマップ増刷 613,800円 （繁体字8,000部、英語2,000部、タイ語2,000部） ・消耗品、役務費ほか 96,972円 多言語ガイドマップの増刷を行い、市内施設への設置や国内外セールスでの誘客宣伝に活用した。また、県主催の海外エージェンツやメディア、クルーズ船を対象としたFAMツアー等で市内視察への同行対応を行った。
				○台湾修学旅行誘致促進事業費 冬季の誘客対策や農山村地域の活性化を目的として台湾の高校生の修学旅行の誘致活動を実施する。	○台湾修学旅行誘致促進事業費 259,904円 ・台湾教育旅行現地説明会等参加及び教育旅行意見交換会参加旅費 241,004円 ・消耗品 18,900円 台湾現地で開催された教育旅行誘致説明会に参加し、学校と商談を行ったほか、姉妹校をはじめとする学校や旅行会社訪問を実施した。また、都内で行われた日台教育旅行関係者意見交換会にも参加し誘致宣伝を実施した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○青少年国際交流事業費 受け入れ態勢の整備と国際的視野を持った人材育成を目的として国際団体の受け入れや青少年の訪台交流事業等を実施する。	○青少年国際交流事業費 2,498,200円 ・台湾学生農泊施設借上料（2校分） 1,338,800円 ・師範大学附属高級中学姉妹校交流時引率教員旅費 577,340円 ・青少年国際交流事業補助金 501,370円 ・消耗品、記念品等 80,690円 台湾の師範大学附属高級中学と姉妹校締結をしている角館高等学校の生徒5名が補助金を活用して台湾現地にて学校交流を行った。また、台湾の師範大学附属高級中学から32名、恵文高級中学から22名が仙北市に訪れ学校交流、農泊をした。
				○桜まちづくり事業費 角館落合地区・田沢湖下高野地区など市内の文化財指定以外の桜の維持管理の実施及び両地区の桜開花時期に合わせて配信業務を行うことで、桜を活かした地域振興及び誘客を図る。	○桜まちづくり事業費 2,779,018円 ・消耗品費 86,190円 ・燃料費 5,960円 ・修繕料 12,968円 ・手数料 118,690円 ・委託料 2,555,210円 桜の開花時期が異なる特性を活かし、長期にわたり桜を楽しむことができるよう、適切な維持管理に努め、開花の様子をライブカメラで配信するなど、回遊性の向上や誘客促進に寄与した。
				○リトリート推進事業 アーティストの方々に豊富な自然、景観、文化を体験しながら創作活動をしてもらうことで質の高い情報発信や親和性の高い関係人口の創出を目指す。	○リトリート推進事業費 872,052円 ・リトリート推進モニターツアー事業費補助金 872,052円 地域おこし協力隊の溝口隊員が主となり、リトリート推進モニターツアーを4月～11月にかけて3回実施した（参加者5名、各11日間程度滞在）。仙北市の豊かな自然や温泉、農村での暮らし体験等を通じた地域住民との交流は、参加者が移住や市との将来的な関わり方を考える契機となり、関係人口創出へ大きく寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○人と地域を創生する観光誘客事業費 本市の魅力の一つである潜在的観光資源を活用した効果的なプロモーションを首都圏の空港で実施することにより、本市の認知度やイメージを向上させつつ、仙北市への誘客や交流関係人口の増加を図る。 地方訪問意向が高まっている訪日外国人を呼び込み、仙北市の総生産の増加を図るため、市民参加型の経済効果の上がる観光宣伝事業に発展させていく。	○観光課分事業費 440,000円 ・委託料 440,000円 令和8年2月28日(土)・3月1日(日)の2日間、羽田空港第1ターミナルビル内にある羽田産直館で「仙北市潜在的観光資源のPR及び物産展 in 羽田産直館」を開催し、これまでの陸路とは異なる空港利用者へ仙北市の魅力である潜在的観光資源を含めた観光宣伝を実施した。連携協定を締結する日本航空株式会社から、仙北市出身のCAなどが会場で仙北市をPRしたことにより、認知度の向上、誘客が図られた。 ○交流デザイン課分事業費 10,101,704円 ・おもてなし向上事業業務委託 899,800円 ・海外誘客コーディネート事業 台湾トップセールス 469,700円 高雄マラソンランナー招へいコーディネート 1,093,290円 高雄マラソンランナー招へい 686,950円 台北温泉祭出展業務 1,218,250円 秋田県食と観光フェア出展業務 913,000円 ・海外セールス旅費 台湾トップセールス3人分 788,961円 台北温泉祭4人分 1,085,255円 秋田県食と観光フェア4人分 1,221,278円 高雄マラソン1人分 166,327円 ・TANBUN・リトリート推進事業業務委託 1,452,000円 台湾のトップセールスに随行し、知事行程のほかに関係機関へ訪問、多言語の観光ガイドマップを活用した情報発信を行った。また、台北温泉祭りや秋田県食と観光フェアではブース出展のほか、観光誘客セミナーを開催した。 おもてなし向上事業では、インバウンド受入れ環境調査や調査結果報告のセミナーを開催した。 TANBUN・リトリート推進事業では、タイ誘客に向けた観光セミナーを開催したほか、PR動画撮影のための視察やSNSでの情報発信を行った。 田沢湖マラソンに高雄市民ランナーを招へい、また、高雄マラソンにおいて仙北市ブースの出展を行った。 令和7年度の事業は、それぞれ市内事業者や市民から理解を得られ、本事業で進めているインバウンド誘客において市内事業者の自発的な活動にもつながっている。
				仙北市と高雄市それぞれで大きな観光事業となっているマラソン大会を通じて交流を図る。	○スポーツ振興課分事業費 1,559,028円 ・台湾高雄富邦マラソン派遣費 1,202,778円 ・お土産代等消耗品費 49,770円 ・台湾高雄富邦マラソンランナー招聘コーディネート業務委託 294,800円 ・秋田空港駐車場使用料 11,680円 それぞれの市で開催されているマラソン大会において、互いにランナーを派遣したことにより観光事業として交流が図られた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要							
				計画	実績及び効果						
				○秋田駒ヶ岳登山利用適正化協議会負担金 秋田駒ヶ岳の自然環境の保全と利用者の快適性及び安全性の確保を図る。	○秋田駒ヶ岳登山利用適正化協議会負担金 2,500,000円 マイカー規制を主軸とした活動を行うことで、秋田駒ヶ岳自然環境の保全と、利用者の快適性及び安全性の確保に寄与した。						
				○秋田内陸線・奥羽北線沿線連絡協議会負担金 内陸線の旅パンフレット・Web版製作事業等の実施を行い、沿線エリアへの誘客を図る。	○秋田内陸線・奥羽北線沿線連絡協議会負担金 1,200,000円 通年版の冊子「秋田内陸線の旅」を40,000部発行したほか、繁体字版を30,000部発行し、JR東日本の首都圏や横浜、大宮支社などのほか台湾の旅行会社などに配布。そのほか商談時の資料として活用するなど、広域沿線の魅力を発信し、誘客が図られた。						
				○温泉事業会計補助金 温泉施設の適正管理による温泉の安定供給を行い、観光振興に寄与する。	○温泉事業会計補助金 57,782,438円 ・収益的収支分 28,328,797円 ・資本的収支分 29,453,641円 地方公営企業法に定める経営に関する基本原則を堅持しながら、地方公営企業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化するため温泉事業会計に繰出しを行った。						
				○抱返り紅葉祭開催費補助金 優れた景観を県内外に広く宣伝し誘客を図りながら、広域観光の拠点となっている県立自然公園のイメージアップを図る。	○抱返り紅葉祭開催費補助金 1,150,000円 紅葉シーズンの魅力的な景観をPRし、誘客を促進することで、観光資源の認知度向上はもとより、地域経済の活性化及び観光振興を図るも、クマ出没の影響から思うようなイメージアップや誘客を見込めなかった。						
				○田沢湖・角館観光協会補助金 仙北市3地区の観光協会と観光連盟が合併し、田沢湖・角館観光協会として発足。地域一体となったPR活動及び日本人観光客並びにインバウンド受入態勢の強化を図る。	○田沢湖・角館観光協会補助金 25,000,000円 <table><tr><th>主な事業内容等</th><th>数量等</th></tr><tr><td>雑誌・新聞等広告</td><td>25 件</td></tr><tr><td>ポスター作成</td><td>3,830 枚</td></tr><tr><td>キャンペーン・キャラバン参加</td><td>14 回</td></tr><tr><td>商談会</td><td>4 回</td></tr></table> 冬季観光事業では「秋田の小正月 雪ざくら＊かくのだて」を開催。秋田の観光キャンペーンでは体験型コンテンツの販売を行った。また、DX化に向けた取り組みとして協会HPにCRM及び地域OTAを実装した。また、首都圏の駅での観光キャラバンのほか商談会などに参加し、誘客促進事業を展開した。	主な事業内容等	数量等	雑誌・新聞等広告	25 件	ポスター作成	3,830 枚
主な事業内容等	数量等										
雑誌・新聞等広告	25 件										
ポスター作成	3,830 枚										
キャンペーン・キャラバン参加	14 回										
商談会	4 回										

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要													
				計画	実績及び効果												
				○観光イベント実施に係る団体への補助 角館の桜まつりや田沢湖高原雪まつりなど、7事業の観光イベントを実施する実行委員会等の団体へ補助金を交付することにより、観光産業の振興と活性化を図り、地域観光の発展向上に寄与することを目的とする。	○観光イベント実施に係る団体への補助 36,201,000円 ・上桧木内の紙風船上げ事業費 3,405,000円 入込み客数 3,000人 ・角館の桜まつり事業費補助金 16,750,000円 入込み客数 817,000人 ・たざわ湖・龍神まつり開催費補助金 1,186,000円 入込み客数 3,700人 ・田沢湖高原雪まつり開催費補助金 950,000円 入込み客数 9,000人 ・角館祭りのやま行事実行委員会補助金 12,260,000円 入込み客数 166,000人 ・角館の火振りかまくら事業費補助金 750,000円 入込み客数 2,300人 ・刺巻ミズバショウ祭り補助金 900,000円 入込み客数 17,000人 SNS等を活用した宣伝効果もあり、入込客数が増加したことで、地域全体における経済の活性化に寄与した。												
				○観光アクセス推進事業費補助金 抱返り紅葉祭期間中の二次交通を確保するため、シャトルバスの運行を実施し観光客の利便性向上を図る。	○観光アクセス推進事業費補助金 1,366,000円 <table><tr><td>抱返り紅葉祭期間</td><td>10月10日～11月10日</td><td>31日間</td></tr><tr><td>シャトルバス運行期間</td><td>10月17日～11月10日</td><td>25日間</td></tr><tr><td>チケット販売枚数(片道)</td><td colspan="2">921枚</td></tr><tr><td>入込み客数</td><td>前年比約63%</td><td>20,000人</td></tr></table> 公共交通機関の空白を埋め、観光客の利便性向上を目的に実施したものの、見ごろ時期の天候不良やクマの出没影響から、入込み客数が伸びずシャトルバスの利用者が見込めなかった。	抱返り紅葉祭期間	10月10日～11月10日	31日間	シャトルバス運行期間	10月17日～11月10日	25日間	チケット販売枚数(片道)	921枚		入込み客数	前年比約63%	20,000人
				抱返り紅葉祭期間	10月10日～11月10日	31日間											
				シャトルバス運行期間	10月17日～11月10日	25日間											
				チケット販売枚数(片道)	921枚												
入込み客数	前年比約63%	20,000人															
○樺細工振興費 樺細工の原皮安定確保を行う。	○樺細工振興費 1,620,517円 植栽保育を行うことで、国指定伝統的工芸品である樺細工の原皮安定確保に寄与した。																
○伝統的工芸品振興費補助金 角館工芸協同組合の活動を支援する。	○伝統的工芸品振興費補助金 1,276,000円 角館工芸協同組合が実施する樺細工振興に資する事業に対して支援を行い、伝統工芸品の振興に寄与した。																
○特別展開催費 企画展を4回開催する。	○特別展開催費 190,976円 ・打掛展 4月5日～6月15日 ・角館の伝統工芸品展 6月21日～9月28日 ・樺細工館蔵品・寄託品点 10月4日～1月25日 ・角館のひな人形展 2月1日～3月31日 郷土資料を展示する地域密着型の特別展を開催することにより、地域に伝わる文化資料を来館者に紹介することができ、集客にも繋がった。																

8 款 土 木 費 2 項 道路橋りょう費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1,803,129,000	1,661,347,214	131,982,000	9,799,786	○雪寒地域建設機械整備費 冬期降雪時における円滑な道路交通を維持するために、市所有の除雪機械を更新する。	○雪寒地域建設機械整備費 79,554,200円 ・除雪ドーザ11 t 級（2台） 41,800,000円 ・ロータリ除雪車 1.5m級 37,754,200円 ○雪寒地域建設機械整備費【繰越明許】 138,028,000円 ・除雪ドーザ14 t 級（アングリングプラウ）2台 46,178,000円 ・除雪ドーザ14 t 級（サイドスライドアングリングプラウ） 41,250,000円 ・凍結防止剤散布車（3 t 級）2台 50,600,000円 除雪機械の更新を行い、冬期交通確保のための除雪作業を実施した。
				○道路維持補修費 安全・安心な交通確保のため適切に道路の維持管理を行い、管理瑕疵を原因とした事故発生件数ゼロを目指す。	○道路維持補修費 87,695,400円 ・道路舗装補修、路肩修繕等 5,321,855円 ・グレーチング修繕 1,052,700円 ・倒木撤去作業委託 514,250円 ・ガードフェンス設置作業委託等 430,100円 ・排水ポンプ場保守点検業務委託等 1,087,702円 ・市道舗装補修工事（4地区×2期） 9,992,400円 ・道路維持補修材 9,992,400円 3,134,461円 ほか ○道路維持補修費【繰越明許】 7,700,000円 ・古城橋流雪溝ポンプ修繕 7,700,000円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の維持管理を実施した。
				○冬期交通対策費 冬期の降雪時において、円滑な交通を維持するための除排雪作業を行う。	○冬期交通対策費 733,662,924円 ・道路除雪作業委託料等 512,033,450円 ・排雪作業 46,984,520円 ・凍結防止剤 7,576,800円 ・除雪機械修繕、リース料 116,358,858円 ほか 除排雪作業により、冬期交通の確保に努めた。
				○交通安全施設整備費 道路区画線やガードレール、カーブミラー等の交通安全設備の設置工事を行う。	○交通安全施設整備費 5,454,900円 ・市道区画線設置工事 2,693,900円 ・道路反射鏡設置工事 1,716,000円 ・市道神代西明寺線防護柵設置工事 1,045,000円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の維持管理を実施した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○安心・安全道路維持整備費 市民や観光客等の歩行者が安全・安心に散策等ができるよう整備を行う。	○安心・安全道路維持整備費 5,528,070円 ・グレーチング修繕等 678,700円 ・市道岩瀬通線歩道整備工事 3,401,200円 ・道路維持補修材 602,286円 ほか 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の維持管理を実施した。
				○社会資本整備総合交付金事業費 市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施する。	○社会資本整備総合交付金事業費 394,527,684円 ・市道神代中央線道路改良設計業務委託 2,937,000円 ・横町橋橋梁補修設計業務委託 40,724,200円 ・橋梁補修工事積算資料作成業務委託（内川橋・第3期） 3,982,000円 ・道路橋定期点検業務委託（3件） 45,564,649円 ・市道神代中央線道路改良工事（合冊 現年分） 36,701,900円 ・橋梁補修工事（2橋） 252,939,000円 ・道路トンネル定期点検業務委託（榎森トンネル定期点検分）負担金 7,377,288円 ・橋梁補修工事（内川橋・第3期）に伴う電線路移設補償金 4,301,647円 ○社会資本整備総合交付金事業費【繰越明許】 60,218,000円 ・市道荒屋敷下延線道路舗装工事 47,036,000円 ・市道神代中央線道路改良工事（合冊 明許分） 13,182,000円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の維持管理を実施した。
				○臨時地方道整備事業費 市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施する。	○臨時地方道整備事業費 10,239,900円 ・市道西木線道路舗装工事 10,239,900円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の維持管理を実施した。
				○過疎対策事業費 市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施する。	○過疎対策事業費 100,295,651円 ・旧大瀬蔵野橋撤去工事（第2期）積算資料作成業務委託 1,478,400円 ・市道生保内学校通り線調査測量分筆登記委託等 1,065,751円 ・道路舗装工事（5件） 40,406,300円 ・旧大瀬蔵野橋撤去工事（第2期） 31,130,000円 ・市道向生保内線道路改良工事（手倉野工区） 24,591,600円 ・市道大沢田子ノ木線側溝改良工事 1,623,600円 歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の維持管理を実施した。

8 款 土 木 費 3 項 河 川 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
49,198,000	27,097,316	20,490,000	1,610,684	○河川維持補修費 近年多発している豪雨災害に対応するため、浸水ないし冠水被害のあった箇所を中心に浚渫や護岸工事等の河川改良を実施する。	○河川維持補修費 8,909,424円 ・浚渫修繕（4河川） 5,797,000円 ・河川・水路護岸修繕 1,543,300円 ・流木・支障木・土砂撤去作業等 989,780円 ほか 過去に浸水・冠水被害等のあった箇所を中心に、河川の維持管理に努めた。
				○河川改良事業費 近年多発している豪雨災害に対応するため、浸水ないし冠水被害のあった箇所を中心に浚渫や護岸工事等の河川改良を実施する。	○河川改良事業費 10,120,000円 ・下高野川河川改修工事（前払金） 10,120,000円 過去に浸水・冠水被害等のあった箇所を中心に、河川改良に努めた。
				○排水対策事業費 豪雨災害による越水被害を防止するため、排水路の整備を行う。	○排水対策事業費 704,000円 ・長戸呂地区排水対策工事 704,000円 過去に浸水・冠水被害等のあった箇所の排水対策に努めた。

8 款 土 木 費 4 項 都 市 計 画 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
701,731,000	697,997,156	0	3,733,844	○都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定事業費 策定から20年近く経過した「仙北市都市計画マスタープラン」を現状に合わせて改定するとともに、官民一体となってコンパクトシティ化促進の指針として新たに立地適正化計画を策定する（2カ年計画）。	○都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定事業費 9,949,250円 ・都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定業務委託 9,724,000円 ほか 2カ年で改定作業を行う予定としており、初年度となる令和7年度は現況課題の整理や将来都市構造の検討等を実施した。
				○下水道事業会計補助金 下水道施設等の適切な維持管理により、環境衛生の保全に寄与する。	○下水道事業会計補助金 650,000,000円 ・収益的収支分 393,468,813円 ・資本的収支分 256,531,187円 令和7年度繰出基準及び繰入金に係る覚書に基づき繰出を行い、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全の推進等に寄与した。
				○生保内公園施設維持管理費 仙北市公園長寿命化計画に基づき市内都市公園等の維持管理を行う。	○生保内公園施設維持管理費 3,691,018円 ・施設維持管理業務委託等 2,158,402円 ・倒木・支障木伐採作業 891,000円 ・東屋解体撤去工事 290,400円 ほか 施設の維持管理・長寿命化に必要な業務を推進した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○公園維持管理費 仙北市公園長寿命化計画に基づき市内都市公園等の維持管理を行う。令和7年度は角館駅東公園トイレの洋式化に係る工事を実施する。	○公園維持管理費 15,809,986円 ・施設維持管理業務委託料等 10,040,184円 ・角館駅東公園トイレ洋式化工事 2,310,000円 ほか 施設の維持管理・長寿命化に必要な業務を推進した。

8 款 土 木 費 5 項 住 宅 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
58,611,000	57,441,353	0	1,169,647	○市営住宅管理運営費 老朽化が進む市営住宅の屋根や外壁等の修繕工事を行い、長寿命化を図る。	○市営住宅管理運営費 49,074,326円 ・修繕費等 20,400,295円 ・ニュータウン塚野腰10・13号棟外壁・屋根塗装工事実施設計等業務委託 3,300,000円 ・ニュータウン塚野腰10・13号棟外壁・屋根塗装工事 17,773,800円 ・市営住宅除却工事（田中住宅） 1,155,000円 ほか 市営住宅の維持管理・長寿命化に必要な業務を推進した。
				○住宅・建築物安全ストック形成事業費 第3期仙北市耐震改修促進計画に基づき、地震による木造住宅の倒壊等を未然に防ぐため、耐震診断や耐震改修に係る費用の一部を補助する。	○住宅・建築物安全ストック形成事業費 240,000円 ・木造住宅耐震診断支援業務委託 240,000円 申請があった住宅について、耐震診断を実施した。

9 款 消 防 費 1 項 消 防 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
899,231,000	854,177,897	32,015,000	13,038,103	○大曲仙北市町村圏組合消防費負担金 大曲仙北市町村圏組合消防本部の運用に係る費用を負担し、地域の消防力維持に努める。	【繰越明許】 24,780,000円 ・大曲仙北市町村圏組合消防費負担金 24,780,000円 消防車両購入分の負担金について、メーカー側で部品供給遅れのため、令和6年度内納入が困難であったが、令和7年度中に納車され負担金の支払いを行った。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○団員報酬・出勤費等 消防団員の能力向上を期して各種研修・訓練を実施しつつ、安全面の強化のため装備品を充実させる。	○団員報酬・出勤費 35,065,298円 ・消防団員年間報酬（402名分） 15,215,108円 ・消防団員出勤手当（402名分） 16,496,092円 ・消防団員支給用品等 2,914,249円 所属する消防団員の日頃の活動に対して年間報酬及び出勤した広報、警戒活動や火事場での消火活動に対して出勤費を支給した。 また、新入団員の装備品や団員の安全面強化のため、鉄板入り安全長靴を支給した。
				○自主防災組織育成事業費 私設消防団を含む自主防災組織の活動を支援し、組織率の向上を目指す。また、県と共同で防災士の育成に取組、地域コミュニティの防災意識の醸成を図る。	○自主防災組織育成事業費 713,238円 ・自主防災組織育成事業費助成金（18組織） 681,600円 ・秋田県防災士養成研修受講料（2名分） 24,000円 地域の自主的な防災活動を推進し、災害による被害を最小限に抑えるため、自主防災組織の育成及び組織活動を支援した。 また、防災士養成研修の受講料について支援し、新たに消防団員2名が防災士の資格を取得した。今後、各地域で開催される防災教室に講師として派遣を行う。
				○消防団員家族慰労金支給事業費 団員として20年以上勤務して退職した者の家族に慰労金を支給する。	○消防団員家族慰労金支給事業費 970,600円 ・退職消防団員家族慰労金（14名分） 970,600円 長年消防団活動を支えてくれた団員の家族に対して、当該団員に支給された退職報奨金を基礎として算出した額を感謝の気持ちとして慰労金として支給した。
				○災害対策総務費 大規模災害に備えて、各避難所で使用可能な小型発電機や非常食等の備蓄品の整備を行う。また、国・県の動向や近年の災害による教訓を踏まえ、地域防災計画の見直しを行う。	○災害対策総務費 10,076,159円 ・災害対策備蓄品等消耗品 1,496,921円 ・衛生携帯、災害対策等携帯電話料金 1,196,937円 ・避難所用備品 1,223,860円 折りたたみベッド 42台 間仕切りテント 42張 プライバシールーム 2張 冷蔵庫 2台 Wi-Fi通信機 2台 非常食や水などの災害時備蓄品を購入。令和7年度から県の共同備蓄計画が見直され、おかずや汁物等の副食も品目として増えたことから、新たに備蓄を始めた。避難が長期化した場合、避難所生活での負担を軽減するため、折りたたみベッドやプライバシー配慮のための間仕切りテント等を購入した。 【繰越明許】 7,260,000円 ・地域防災計画改定業務委託 7,260,000円 令和6年度に改定予定であった地域防災計画については、関係機関との確認作業時に想定以上の時間を要していたが、確認作業を完了し、防災会議での承認を経て、令和7年5月に成案となった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○防災行政無線維持管理費 令和7年度から新しい防災情報伝達システム「@せんぼく」の運用を開始し、LINE等最大限活用した効率的かつ効果的な防災情報の発信を行う。移動系無線に関しては、従来の無線機を維持管理し、災害や遭難等の事案に備える。	○防災行政無線維持管理費 14,818,243円 ・「@せんぼく」光回線使用料 79,200円 ・「@せんぼく」戸別受信機SIM使用料 4,620,000円 ・「@せんぼく」クラウド使用料 2,750,000円 ・移動系無線維持管理委託 2,044,405円 ・「@せんぼく」維持管理委託 1,925,000円 ・J－ALER T次世代受信機購入 2,726,900円 運用を開始した「@せんぼく」の維持管理を行った。また、移動系無線に関しては従来のシステムを使い、機器の維持管理を行った。災害情報や国民保護等緊急情報を国が発信するJ－ALER Tシステムの次世代受信機を整備し、「@せんぼく」に連携して市民に伝える体制を整えた。
				○危険空き家対策費 空き家等の所有者に適正な管理を促すとともに、空き家等を解体・処分しようとする所有者で財政援助の必要な方に対し、解体処分費の一部を補助する。また、災害時における空き家の飛散物や軒先の雪など、市民に対する危険を取り除くための措置を実施する。	○危険空き家対策費 7,523,587円 ・会計年度任用職員報酬等（1人） 4,303,670円 ・空家等対策協議会委員報酬・費用弁償 32,807円 ・消耗品、コピー代、郵便料等 180,510円 ・危険空き家緊急安全措置業務 1件 6,600円 ・空き家等対策支援事業費補助金 交付実績 15件 3,000,000円 空き家等の適正管理を喚起し、解体処分の相談・支援を行うことで、市民と地域の安全・安心の確保と生活環境の保全に寄与した。

10 款 教 育 費 1 項 教 育 総 務 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
293,112,000	286,789,631	0	6,322,369	○学校適正配置関係事業費 小・中学校の教育環境を持続的でより充実したものとするため、学校適正配置検討委員会及び市民意見交換会を開催し、学校適正配置計画の策定を目指す。	○学校適正配置関係事業費 707,316円 ・学校適正配置検討委員報酬、費用弁償 186,931円 ・事務的経費 80,385円 ・学校再編に係る学校施設改修費概算業務委託 440,000円 ・学校適正配置検討委員会 開催日 9月1日、11月7日、3月4日 ・市民意見交換会（参加者数 延べ177人） 角館学区 12月17日 生保内学区 10月8、29日、11月14日、12月23日、1月14、22日 神代学区 10月10日、12月15日 西明寺学区 10月14日、12月10日 桧木内学区 10月15日、12月18日、2月12日 ・その他の主な意見交換 4、7月 市内全園・小・中保護者 9～1月 桧木内小保護者（計7回） 持続可能で望ましい教育環境の構築を目指す「仙北市立小・中学校適正配置計画」を策定した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○仙北市学校施設長寿命化計画更新事業費 持続可能で充実した教育環境を目標とし、学校適正配置検討に係る進捗度や今後の学校統合を踏まえた計画更新を実施する。	○仙北市学校施設長寿命化計画更新 2,970,000円 ・仙北市学校施設長寿命化計画改定業務委託 1件 2,970,000円 学校適正配置計画策定に合わせ学校統合を反映した、仙北市学校施設長寿命化計画改訂版を作成した。
				○校務支援システム運用事業費 教職員の業務効率と利便性向上を目的として、秋田県教育委員会と共同調達・共同利用することとして導入された校務支援システムの運用を行う。	○校務支援システム運用事業費 7,101,567円 導入により業務効率に加えて、セキュリティの面でも改善が見られた。
				○G I G Aスクール構想推進事業費 G I G Aスクール構想に伴う児童生徒一人一台端末や専用のネットワークを整備し、仙北市でのG I G Aスクール構想を推進する。	○G I G Aスクール構想推進事業費 14,263,074円 ・情報学習支援員報酬等 2,959,482円 ・通信運搬費 877,820円 ・委託料 4,356,000円 ・使用料及び賃借料 5,976,960円 ・補償補充及び賠償金 92,812円 端末の保守委託契約や情報学習支援員の任用等によるI C T教育のサポート体制を維持することができた。
				○国際交流事業費 仙北市内の中学校と台湾の姉妹校との相互交流を通じて、社会のグローバル化等に柔軟に対応できる子どもの育成を図る。	○国際交流事業費 2,312,625円 ・台湾へ渡航する生徒への補助金 1,092,000円 ・生徒引率職員旅費 930,960円 ・現地アテンド業者や通訳への委託料 198,675円 令和7年11月12日から11月14日まで、台中市の恵文高級中学が仙北市を訪問し角館中学校との交流を行った。 また、令和7年11月16日から11月20日まで、生保内中学校の生徒6名、引率3名が台湾台北市を訪問、19日に北投国民中学にて交流を行った。
				○仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費 市内企業の職場体験・企業説明会、キャリアマイスターによる講演等を小・中学生を対象に実施することで、ふるさとを愛し、豊かな心・確かな学力・健やかな体をもち、未来の地域や社会を支える意欲と高い志にあふれ、「仙北市に残って我々と一緒に市の未来をひらいてくれる子ども（ヤマメ）」、「外に出ても帰ってきてくれる子ども（サクラマス）」、もしくは、「仙北市を離れても心のどこかでふるさとの未来を考えてくれる子ども」を育む。	○仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費 5,152,615円 ・小学生による職場体験学習（7月30日～7月31日開催） 受け入れ企業3社 参加児童（小学校6年生対象） 18人 企業紹介ポスターを作成し、市内3か所でポスター展示会開催 ・中学生向け企業説明会（5月29日開催） 参加企業16社 参加生徒数（中学2年生対象）164人 令和7年度は、生徒・保護者や関係機関の方々が参加し「仙北市で働く」を題材にパネリスト4名を迎えパネルディスカッションを開催した。 ・「せんぼく はたらく BOOK V o 1 2」発行（520部発行） 「仙北市でつくる・つたえる」をテーマに発行し、プロジェクトが仙北市の子どもたちがふるさとへの愛着を深め、郷土への夢・志を元気のもととして仙北市で働き生きていくイメージを養う一助となった。

10 款 教 育 費 2 項 小 学 校 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
292,975,000	279,866,768	0	13,108,232	○維持修繕費 各学校からの要望及び緊急に対応が必要な箇所について、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い修繕等を実施する。	○維持修繕費 5,286,696円 桧木内小学校2階外部通路軒天修繕 240,856円 角館小学校プール用カートリッジ交換修繕 299,970円 西明寺小学校プール用差圧式滅菌器交換修繕 426,800円 生保内小学校体育館外壁応急修繕 99,000円 神代小学校体育館照明器具取替修繕 234,300円 生保内小学校正門修繕 275,000円 生保内小学校誘導灯取替修繕 110,000円 神代小学校外灯漏電改修 72,490円 西明寺小学校生徒玄関フロアヒンジ交換 116,600円 桧木内小学校ろ過タイマー交換 114,400円 生保内小学校電灯盤主幹開閉器交換 140,800円 神代小学校給水ユニット圧力タンク交換 97,570円 神代小学校水中ポンプ制御盤修理 161,040円 桧木内小学校防犯灯修繕 136,400円 神代小学校ホール照明器具修繕 234,300円 桧木内小学校図工室壁修繕 125,400円 その他修繕 21件 1,953,452円 原材料費 グラウンド用土・舗装補修材料等 448,318円 各学校と協議しながら学校施設の維持に必要な修繕を実施し教育環境の維持が図られた。
				○諸工事費 各学校からの要望をとりまとめ、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い工事等を実施する。	○諸工事費 25,680,050円 仙北市立桧木内小学校特別支援教室等エアコン設置工事 4,290,000円 仙北市立生保内小学校理科室エアコン設置工事 2,684,000円 仙北市立角館小学校非常照明不点灯修繕工事 638,000円 仙北市神代小学校高圧受電設備遮断機交換工事 1,078,000円 仙北市神代小学校プログラムタイマー付親時計交換工事 765,050円 仙北市立神代小学校屋上防水シート部分補修工事 5,236,000円 仙北市立桧木内小学校屋上防水シート改修工事 4,939,000円 仙北市立神代小学校地下タンク油面計交換工事 550,000円 仙北市立神代小学校消雪設備交換工事 1,815,000円 仙北市立角館小学校体育館音響設備更新工事 3,685,000円 学校施設の設備更新等を行い、良好な教育環境の維持が図られた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 これまでの総合的な学習を拡充し、ふるさと教育・キャリア教育について、各学校が特色ある取り組みができるよう支援する。	○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 1,129,734円 ・事業内容 ①角館小学校 241,800円 陶芸体験、室町体験学習ほか ②生保内小学校 262,993円 農業体験、スキー学習ほか ③神代小学校 249,145円 農業体験、花いっぱい笑顔いっぱいプロジェクトほか ④西明寺小学校 264,070円 鎌足和紙すき体験、農業体験ほか ⑤桜木内小学校 111,726円 農業体験、紙風船制作・打ち上げほか 地域を学ぶことにより、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を醸成した。

10 款 教 育 費 3 項 中 学 校 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
196,878,000	188,209,190	0	8,668,810	○維持修繕費 各学校からの要望及び緊急に対応が必要な箇所について、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い修繕等を実施する。	○維持修繕費 2,115,410円 角館中学校防排煙設備修繕 214,720円 神代中学校防排煙設備修繕 158,400円 仙北市立角館中学校感知器交換修繕 66,000円 角館中学校構内引込第1柱腐食配管修繕 231,000円 神代中学校清流教室エアコン修繕 127,160円 桜木内中学校生徒玄関フロアヒンジ交換 116,600円 桜木内中学校ガスボンベ室木建具修繕 121,000円 生保内中学校2F女子トイレパネルヒーター取替修繕 109,450円 神代中学校音楽室排水管修繕 157,300円 生保内中学校職員男子トイレ便座取替 132,000円 桜木内中学校外灯根元補強修繕 60,500円 神代中学校女子トイレ立水栓交換 19,580円 生保内中学校ポンプ排水管修繕 14,300円 西明寺中学校幅跳び箇所修繕 22,000円 西明寺中学校北側入口看板修繕 41,800円 その他修繕 6件 177,100円 原材料費 グラウンド用土・舗装補修材料等 346,500円 各学校と協議しながら学校施設の維持に必要な修繕を実施した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○諸工事費 各学校からの要望をとりまとめ、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い工事等を実施する。	○諸工事費 13,827,000円 角館中学校特別支援教室等エアコン設置工事 4,466,000円 生保内中学校地下タンク改修工事 5,368,000円 生保内中学校火災受信機更新工事 3,993,000円 学校施設の設備更新等を行い、良好な教育環境の維持が図られた。
				○校内教育支援センター運営事業費 「誰をも取り残さない教育」を教育理念におき、不登校生徒やクラスに入りにくい生徒の支援を行うことを目的とする。	○校内教育支援センター運営事業費 3,395,851円 ・校内教育支援センターを活用した生徒 令和7年度 21人 (1年生5人、2年生7人、3年生9人) 心身の様々な要因から別室登校を望む生徒が、校内教育支援センターで過ごすなかで課題を少しずつ解決した。本センターは教室復帰のみをゴールとせず、個々のペースや状況に応じた学習支援を展開した。その結果、今年度は3年生の利用者全員が希望する進路を実現するという、進路決定において大きな役割を果たすことができた。今後も生徒に寄り添った効果的な活動を継続していく。
				○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 これまでの総合的な学習を拡充し、ふるさと教育・キャリア教育について、各学校が特色ある取組ができるよう支援する。	○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 902,204円 ・事業内容 ①角館中学校 ふるさとスケッチ会ほか 154,383円 ②生保内中学校 カヌー体験・なべっこほか 189,745円 ③神代中学校 スキー教室、農業体験ほか 180,753円 ④西明寺中学校 鎌足と紙すき体験、スキー教室ほか 167,986円 ⑤桧木内中学校 学校花壇・農園、紙風船制作打ち上げほか 209,337円 地域を学ぶことにより、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を醸成した。
				○中学校部活動指導員配置事業費 市内中学校の部活動の充実と教職員の負担軽減を図るため、部活動指導員を配置する。	○中学校部活動指導員配置事業費 1,760,029円 ・事業内容 部活動支援員6人を配置 配置校 中学校5校 部活動指導員を配置することにより、部活動の充実と教職員の負担を軽減した。

10 款 教 育 費 5 項 社 会 教 育 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要									
				計画	実績及び効果								
535, 559, 000	526, 833, 955	0	8, 725, 045	○二十歳の集い費 二十歳を祝い旧友や恩師との再会の場を設け、ふるさを見つめ直す機会となるよう開催する。	○二十歳の集い費 65, 412円 対象者 平成16年4月2日～平成17年4月1日生 対象人数 209人 参加人数 164人 参加率 78.4% 対象者自らが運営を協議し、式典では旧友や恩師との再会を喜んでいた。								
				○学校・家庭・地域連携総合推進事業費 地域住民の特技等を活かした地域の教育力を学校教育に活用することで、子どもたちの学びを豊かにするとともに、地域の活性化を図る「地域学校協働活動」を支援する。	○学校・家庭・地域連携総合推進事業費 2, 779, 351円 ・地域学校協働活動推進員報償費 2, 429, 400円 ・旅費 292, 001円 ・需用費 16, 700円 ・役務費 41, 250円 ・協働活動に参加した地域ボランティアの人数 令和6年度 296人 → 令和7年度 429人 ・地域学校協働本部事業実践ハンドブックの認知度 令和6年度 40.6% → 令和7年度 99% ・熟議の回数 令和6年度 7回 → 令和7年度 6回 地域学校協働活動が各学校で活発になってきている。また、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進が図られた。								
				○中央公民館活動推進事業費 ・公民館講座 生涯学習の機会として、健康づくり・趣味・教養等の分野において、市民ニーズに即した学習意欲が高まる講座を開設する。	○中央公民館活動推進事業費 1, 856, 685円 講師謝礼（講座・イベント等） 872, 000円 ・公民館講座 中央公民館 文芸教室、なぜなぜサイエンス、山野草の寄せ植え教室、大人のリトミック、オパール毛糸教室、簡単マナビート、冬野菜のスープ教室、寒天教室、写真教室、親子ふれあい教室ほか 計26講座 延べ787人 田沢湖公民館 クラフトかご編み教室、ヨガ教室、お香の教室、テーブルフラワー教室、モルック教室、簡単に作れるお菓子教室、んみやもの料理教室、出前講座ほか 計16講座 延べ434人 角館公民館 サンキャッチャー教室、プラかご作り教室、こけ玉作り教室、マーブルアート教室、パラコード編み教室、モールドール教室、羊毛フェルト教室、布玉ネックレス作り教室ほか 計10講座 延べ158人								
				・仙北市民公民大学 市民が学びたい学科を通じて知識と連帯感を高め、地域社会の発展に寄与する。	・仙北市民公民大学 <table><tr><td>学科</td><td>開講数</td><td>延べ人数</td></tr><tr><td>郷土研究学科</td><td>10 回</td><td>231 人</td></tr><tr><td>書道学科</td><td>23 回</td><td>294 人</td></tr><tr><td>陶芸学科</td><td>38 回</td><td>474 人</td></tr></table>	学科	開講数	延べ人数	郷土研究学科	10 回	231 人	書道学科	23 回
学科	開講数	延べ人数											
郷土研究学科	10 回	231 人											
書道学科	23 回	294 人											
陶芸学科	38 回	474 人											

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				・地域総合学習 地域で活動する個人や団体、サークル等の学習成果を発表する機会を提供する。 ・新年書きぞめ展 小中学生等からの応募作品を展示する。	・第11回田沢湖公民館まつり 計1回 参加者82人 ・令和7年度生涯学習のつどい 計1回 参加者30人 ・令和8年新年書きぞめ展 計1回 作品数37点 市民の学習ニーズに即した多様な講座を開設したほか、公民大学の開講や出前講座などを行い、良質な学びの場を提供できた。また、日頃の創作活動や学習成果を発表する場として、田沢湖公民館まつりや生涯学習のつどいを開催し、多くの来場者に生涯学習活動の取組を紹介することができた。
				○仙北市文化祭補助金 市民の芸術文化活動への参加意欲を高め、かつ日頃の生涯学習の成果を発表展示する場として、市制20周年を記念した文化祭を開催する。	○仙北市文化祭補助金（市制20周年記念仙北市文化祭） 498,095円 開催場所：角館地区、田沢湖地区、西木地区、市民会館会場 ・来場者数 1,251人 ・総作品出品数 1,743点 作品展示会場を3地区と市民会館に分け、地域の賑わいを創出しつつ、一方では、市民会館で芸能発表を3地区合同で行うなど、市制20周年記念文化祭として市民の思い出に残る文化祭を開催できた。
				○図書資料購入費 公共図書館として、利用者や地域ニーズに応えられる蔵書構成を図る。	○図書資料購入費 3,023,176円 ・図書購入費 2,400,000円 ・雑誌等購入費（雑誌40冊、新聞5紙） 623,176円 来館者数 延べ 17,356人 貸出利用者数 延べ 4,237人 貸出冊数（図書、雑誌） 延べ 20,655冊 来館者や幼保施設等団体貸出先から寄せられるリクエストなどを参考にし、それらにあった選書や提案を行ったことにより、人口減少が進む中にあっても貸出冊数や利用者数が微減にとどまった。
				○図書館サービス拡充事業費 地域の情報拠点として、充実した図書館サービスを提供する。	○図書館サービス拡充事業費 22,039,661円 ・会計年度任用職員報酬等（6人） 21,755,699円 ・講師謝礼（講座、イベント等） 157,440円 ・イベント消耗品等 126,522円 図書館を会場に各種講座・コンサート・展示等を開催し、図書館の場としての魅力を発信した。SNS（Instagram）の運用により情報発信の機会が増加し、市民の来館意欲の喚起につながった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○文化財管理費 伝統的建造物群保存地区内の消防施設及び防災施設の保守点検をはじめ、武家屋敷周辺の歴史的町並み保存及びその他文化財の管理全般を適切に行う。	○文化財管理費 6,286,201円 ・国、県、市の指定文化財等文化財全般に係る保存管理 ・特別天然記念物カモシカ保護及び処理 3頭 ・消防施設及び防災施設の保守点検 計6回（各3回ずつ） 国、県及び市の指定文化財及び特別天然記念物の適切な保存、保護及び伝統的建造物群保存地区内の防災対策に寄与した。
				○武家屋敷公開管理事業費 伝統的建造物群保存地区内外の市管理史跡の公開及び管理を行う。（岩橋家、小田野家、旧松本家）	○武家屋敷公開管理事業費 13,580,816円 ・公開期間 4月3日～11月30日 ・来場者数 124,342人（前年比－12,418人） 1年を通じて客足の途切れることのない保存・公開・維持管理を実施した。伝建地区隣接地においてもクマが出没し（10月23日 緊急銃猟実施）、10～11月紅葉期の減少（前年比－7,760人）が極端に目立った。来訪者への案内、小中高校生のフィールドワークへの対応などにより、古いものを遺し次世代に継承していく意義の重要性を感じていただいた。
				○旧石黒（恵）家公開事業費 伝統的建造物の公開と利活用を図る。	○旧石黒（恵）家公開事業費 7,425,073円 ・公開期間 4月1日～3月31日 ・入場者数 7,968人（前年比＋739人） ・利用実績 1,216人（前年比－172人） 年間入場者数は前年を上回ったものの、クマ出没により紅葉期の減少（前年比－556人）が目立ったが、12～3月冬期は前年を上回る回復（前年比＋74人）を見せた。角小茶の湯体験人数と、冬期の民間企画「発酵食講座」催行回数及び参加者数の減少、更に冷暖房費の有料化により常連団体の利用が無くなったことが利用実績減の主な理由といえる。昭和初期の伝統的建造物を公開活用することにより、江戸から昭和までの時代の変遷や、角館の建築の歴史を学ぶ実践の場として好評を得た。
				○河原田家公開管理事業費 武家屋敷河原田家の有料公開を行う。主屋では対面による案内を実施し、土蔵には河原田家に縁のある品々を展示し、伝統的建造物の公開活用を図る。	○河原田家公開管理事業費 15,896,335円 ・公開期間 4月1日～3月31日 ・来場者数 15,094人（前年比＋1,093人） 年間入場者数は前年を上回ったものの、クマ出没により紅葉期の減少（前年比－380人）が目立ったが、12～3月冬期は前年を上回る回復（前年比＋392人）を見せた。対面による案内が好評で、訪れた観光客に武家屋敷についての理解を深めていただいた。伝統的建造物群保存地区内の観光スポットとして、観光産業活性化の一助となった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○桜保護管理費 文化財指定の桜の日常管理を実施し、訪れる観光客に良好な花を見ていただく。	○桜保護管理費 9,369,053円 ・桜保護管理作業員（報酬・手当 等） 3,493,895円 ・角館中学校2年生と大曲支援学校せんぼく校による桜の施肥活動 文化財保護法による国名勝指定、国天然記念物指定の桜に対し、管理を行った。枯枝の除去、ソメイヨシノのテングス病枝の除去、その他の整枝、施肥、病虫害駆除等を実施。樺細工伝承館前のシダレザクラは4月19日、桧木内川堤のソメイヨシノは4月20日に開花した。平年値よりも開花はやや早かったものの、野鳥のウソによる花芽の被害は全くなく、本市観光産業の活性化に寄与した。なお、今年度より桜保護管理作業員（会計年度任用職員）1名を雇用し、作業の効率化を図った。
				○重要伝統的建造物群保存地区整備事業費 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている仙北市角館の江戸期の町並みの維持保存を図る。	○重要伝統的建造物群保存地区整備事業費 21,255,462円 ・西宮家板塀修景（工事・設計・監理） 3,689,400円 ・小原家板塀修景（工事・設計・監理） 1,764,400円 ・田中家板塀修景（工事・設計・監理） 1,571,900円 ・石黒家主屋・土蔵修理事業費補助金 6,839,280円 ・旧青柳家土蔵修理事業費補助金 7,000,000円 上記をはじめ地区内の伝統的建造物等の修理修景事業を実施し、地区住民の負担軽減を図るとともに、仙北市・東北・日本の歴史的町並み保存、文化の向上・発展に寄与した。
				○文化財保存活用地域計画作成事業費 「文化財保存活用地域計画」を令和5年度から3カ年で策定する。学識経験者等による文化財保存活用地域計画協議会を設立し検討を進めつつ、関係団体ヒアリング等を実施し、計画の素案を作成する。	○文化財保存活用地域計画作成事業費 4,275,209円 ・文化財保存活用地域計画協議会の開催 2回 委員謝礼 95,000円 委員費用弁償 146,139円 ・地域計画基礎調査業務委託 3,729,000円 関係団体ヒアリング 5団体 文化財保存活用地域計画協議会において、令和7年度に実施した関係団体ヒアリング結果と、これまで実施した市民・所有者・高校生それぞれを対象にしたアンケート調査の結果や、市民ワークショップを通じて明らかとなった文化財に関する意識、個別の文化財への認知度、今後の保存や活用に対する考え方等を反映させた、本市の文化財の保存・活用に関する将来像・課題・方針・措置を設定し、実施計画案を作成した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○角館のサクラ文化財指定50周年記念シンポジウム事業費 国指定天然記念物「角館のシダレザクラ」ならびに国指定名勝「檜木内川堤（サクラ）」が指定50年の節目を迎えたため、これまでの角館のサクラについて振り返り、将来の角館のサクラについて考えるシンポジウムを開催する。	○角館のサクラ文化財指定50周年記念シンポジウム事業費 1,889,951円 ・開催日 令和7年5月18日（日） ・会 場 角館交流センター ・内 容 お礼肥え、基調講演、パネルディスカッション 角館中学校2年生による桜診断結果報告会 みちのく三大桜名所さくらまつり観光用ポスター展 ・参加者 100人 参加者と協力し合いながらのサクラへの施肥活動（お礼肥え）や、これまでの50年間を振り返る基調講演、100周年を見据えたパネルディスカッションを行い、本市のサクラを遺すことの意義について考える機会となった。
				○角館のお祭り保存会補助金 国指定重要無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」の保存団体である「角館のお祭り保存会」の事業に要する経費の一部を支援する。	○角館のお祭り保存会補助金 480,000円 ・おやま囃子コンクール 129,576円 開催日 令和7年9月8日（月） 会 場 佐竹北家御座所前 内 容 佐竹北家上覧時における手踊りと囃子方の審査 審査員謝礼（@10,000×5） 50,000円 需用費（賞状・額縁・賞状筆耕代等） 79,576円 ・おやま囃子芸能発表会 256,123円 開催日 令和8年2月11日（水） 会 場 角館交流センター 内 容 日頃の練習成果の披露 参加団体：12団体／観覧者：300人 出演団体謝礼（@10,000×12） 120,000円 記録映像DVD作成謝礼 50,000円 需用費（プログラム・ポスター印刷代等） 86,123円 ・会議費（全国山鉾屋台保存連合会、東北山鉾屋台協議会） 64,630円 受賞すること、人前で披露することを通して大きな達成感を担い手に感じてもらえた。また、知ってもらうことで意欲を高めてもらい課題である後継者の増員につなげることが出来た。
				○学習資料整備費 利用者のニーズに応じた図書資料・視聴覚資料を購入装備のうえ貸出を行う。貴重な資料の収集保存に努めながら、最新の情報、郷土資料なども充実させ、適切な蔵書構成を目指す。	○学習資料整備費 4,831,909円 ・図書資料等購入費 1,579冊 2,999,432円 内訳（一般図書 1,082冊、児童図書 497冊、視聴覚資料 0点） ・利用実績 来館利用者数 34,717人 貸出利用者数 9,173人 貸出冊数 35,634人 学習資料の整備により、読書の促進に資することができた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○学習資料館利用促進費 市民が安心して利用できる学習の場、情報収集の場を提供する。新規利用者獲得と、利用者の継続的な来館につながるよう、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。	○学習資料館利用促進費 12,281,441円 ・会計年度任用職員報酬等（3人分） 12,094,053円 （報酬・手当・共済費・通勤手当） ・需用費 利用促進に係る消耗品費 101,733円 ・役務費 資料相互貸借に係る通信運搬費 64,957円 ・備品購入費 大型絵本スタンドほか 20,698円 毎月、テーマや社会情勢、ニュース等を反映したものや、文学館企画展に合わせたコーナーを設置した。広報せんぼく、仙北市HP、仙北市LINE等により情報を発信した。角館高校放送委員とのコラボ企画「真夏の怪談」、新たな試みとして「ブックブック交換会」と子ども向け英語の読み聞かせイベント「えいごにふれよう」を実施した。小学生のまちたんけん・中高生のインターンシップ・ボランティアの受け入れを積極的に行った。
				○学校図書館支援事業費 学校図書館支援員が市内全ての小・中学校を定期的に訪問し、学校図書館の選書、発注、蔵書管理、データ管理、環境整備等の業務全般に対し図書担当教諭を支援する。 子どもの読書普及と支援のため、学校の規模に応じて図書購入費を配分することにより、学校図書館の蔵書の充実を図るとともに児童・生徒の読書環境の向上に寄与する。	○学校図書館支援事業費 12,645,149円 ・支援員報酬等（2人分） 8,595,015円 ・支援員学校訪問頻度 市内全小・中学校に月2回程度訪問 ・学校図書館システム等保守委託料 624,360円 ・学校用図書館管理データ作成業務 330,000円 （TOOL i－S）使用料 ・学校図書館業務システムリース料 2,059,200円 ○学校図書館支援事業 851,172円 ・市内小・中学校図書購入費 角館小 67冊 角館中 100冊 生保内小 28冊 生保内中 45冊 神代小 40冊 神代中 46冊 西明寺小 40冊 西明寺中 47冊 桧木内小 19冊 桧木内中 44冊 計 476冊 学校図書館支援員の訪問支援等により、学校図書館の環境整備と利用促進を図り、児童・生徒の図書室利用につながっている。また、学校図書の購入・配備により、小・中学校の読書環境の向上に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○イベント交流館展示費 常設展示により、新潮社創業者の佐藤義亮氏や新潮社、秋田県や仙北市等地元ゆかりの先人を紹介する。郷土の先人・文人たちの功績を広く紹介し、市民や入館者に知ってもらうため企画展示を開催する。	○イベント交流館展示費 768,285円 ①企画展「館蔵品展」 期間 4月5日～8月24日 入館者数 1,531人 ②企画展 角館高等学校創立100周年「百穂とアララギの歌人たち」 期間 9月5日～11月9日 入館者数 622人 ③企画展「綴られた記憶」 ― 仙北市の四人の作家、その言葉と筆跡 ― I 期間 11月25日～令和8年2月15日 入館者数 244人 ④企画展「綴られた記憶」 ― 仙北市の四人の作家、その言葉と筆跡 ― II 期間 2月28日～令和8年6月28日 令和7年度入館者数 144人 「館蔵品展」として新潮社から寄附を受けた川端康成、大江健三郎らの直筆の書等、山田申吾氏の原画を展示した。また、角館高校創立100周年を記念して「百穂とアララギの歌人たち」と題した企画展を行った。 仙北市ゆかりの直木賞作家3名、芥川賞作家1名を顕彰するため河正雄氏から文学顕彰碑が寄贈されたことを記念して「綴られた記憶 I・II」と題した企画展を開催した。
				○文学顕彰碑設置事業費 地域の文化的誇りを後世に伝えるため、仙北市ゆかりの文学者を顕彰するために河正雄氏より寄贈を受けた文学顕彰碑を設置し、除幕式を執り行う。	○文学顕彰碑設置事業費 871,214円 ・寄附者河正雄氏・顕彰者遺族旅費 130,600円 ・除幕式開催に係る消耗品 19,414円 ・除幕式開催に係る郵送料 4,000円 ・白布等リース料 24,200円 ・文学顕彰碑設置工事費 693,000円 仙北市ゆかりの直木賞作家である渡辺喜恵子氏、千葉治平氏、西木正明氏と芥川賞作家の高井有一氏を顕彰する文学顕彰碑を設置することにより4人の功績を仙北市を訪れた多くの方々に紹介し、令和7年11月26日に除幕式を開催することで、寄附者である河正雄氏や顕彰者遺族、関係者に市からの感謝を伝えた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○常設・企画展示費 常設展は4月から6月は「水墨の美穂庵・百穂父子墨画展」を企画展と合 一で開催した。7月以降は「平福穂 庵・百穂父子展」を企画展ごとに作品 を替えて実施。令和7年度は企画展を4 回実施した。	○常設・企画展示費 959,533円 ・水墨の美 穂庵・百穂父子墨画展 4月8日～6月22日 3,019人 ・草薨裕写真展 7月1日～9月21日 2,048人 ・思い馳せる100周年 旧制角館中学校創立100周年記念展 10月1日～11月12日 1,088人 ・館蔵品・寄託品展 2月24日～3月29日 254人 ・令和7年度 入館者数 9,484人 開館日数 273日 「穂庵・百穂父子墨画展」は平福穂庵・百穂の高度な筆使いが堪能 できる水墨画の数々を展示した。「草薨裕写真展」は今回が2回目で 水をテーマとした写真が中心だった。「旧制角館中学校創立100周年 記念展」は旧制角館中学校（現 角館高等学校）出身の画家の作品を 展示した。非常によい展示であったがクマが頻繁に出没した時期と重 なり入館者数が思うように伸びなかった。前年度に比べ入館者数が 1,056人増加した。
				○児童生徒県南美術展開催費 県南4市（仙北市・大仙市・横手 市・湯沢市）2郡（仙北郡・雄勝郡） の小中学生の美術作品を募り、第48回 児童生徒県南美術展を実施した。	○児童生徒県南美術展開催費 347,168円 ・開催期間 11月28日～1月25日 ・入館者数 2,778人 ・参加校数 77校（小学校 53校 中学校 24校） ・出品数 1,052点（小学校 738点 中学校 314点） 参加校は前年度より2校増え、出品数は120点の増、入館者数は183 人の増となった。学校ごとの出品枠（上限数）を拡大したことが出品 数の増加、入館者数の増加につながったと思われる。出品作が年々レ ベルアップしていることから、この美術展が小中学校の美術教育に貢 献している。広報活動は新聞や仙北市H P、S N S等で行い集客に努 めた。
				○管理運営費 勤労青少年ホームと外ノ山テニス コートの管理運営を行う。	○管理運営費（勤労青少年ホーム） 12,748,317円 ・需用費 2,089,812円 ・役務費 134,982円 ・委託料（受付業務委託、日常清掃業務ほか） 5,188,523円 ・工事請負費（外ノ山テニスコートL E D照明交換工事） 5,335,000円 （令和7年度利用実績） ・勤労青少年ホーム利用者数：令和6年度9,108人→令和7年度8,487人 ・テニスコート利用者数：令和6年度880人→令和7年度871人 外ノ山テニスコートと勤労青少年ホーム軽運動室の照明をL E D照 明に交換した。両施設ともに前年度より利用者数が微減しているが、 クマの出没による影響と思われる。また冬季は豪雪の影響で施設利用 のキャンセルが増加したことが影響している。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○自主事業運営費 市民が今以上に市民会館に来館する機会を増やし、創造的な感性が育成できる環境を提供する。	○自主事業運営費 1,448,522円 ・海上自衛隊大湊音楽隊コンサート 令和7年7月13日（日）午後2時開演 出演：陸上自衛隊第9音楽隊コンサート 入場者数：800人 ・仙北市音楽交流会 音の泉 令和7年11月9日（日）午後1時30分開演 出演：大曲支援学校せんぼく校、市内小中学校吹奏楽部 他 入場者数：350人 ・ロビーコンサート「民謡歌謡ショー」 令和8年3月14日（土）午後2時00分開演 出演：日本民謡梅若流梅若会 青年部 入場者数：200人 ロビーコンサートは年1回のみ開催となったものの、今年度で3回目となった「仙北市音楽交流会 音の泉」では出演団体も増え、市民の新たな活躍の場の創出に貢献できた。
				○市制20周年記念自主事業運営費 市制20周年を記念し、普段市内では見ることのできない質の高い芸術鑑賞を行っていただくことにより、市民の方々に文化・芸術の還元を行う。	○市制20周年記念自主事業運営費 10,403,594円 ・明治大学応援団成果発表会 令和7年9月6日（土）午後1時開演 出演：明治大学応援団 入場者数：350人 ・DRUM TAO ツアー公演 令和7年10月4日（土）午後4時30分開演 出演：DRUM TAO 入場者数：350人 応援パフォーマンス、質の高い太鼓パフォーマンスを披露してもらうことにより、より多くの市民の方々に芸術・文化に触れる機会を創出することができた。
				○「未来へつなぐ伝統芸能」 フォーラム実行委員会補助金 仙北市に古くから継承されている「角館のおやま囃子」の子どもたちによる継承に焦点を当て、現状と課題の事例発表と、課題解決と方向性の共有に向けたシンポジウムの開催に要する経費の一部を支援する。	○「未来へつなぐ伝統芸能」 3,000,000円 フォーラム実行委員会補助金 開催日：令和7年11月15日（土） 会 場：あきた芸術村わらび劇場 内 容：基調講演、事例発表、パネルディスカッション 参加者：100人 現状と課題について話し合われた。地域の祭りの事例を通して持続可能な伝統芸能の在り方について考えを深めることになった。

10 款 教 育 費 6 項 保 健 体 育 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
351,691,000	340,968,044	0	10,722,956	○スポーツ推進委員費 市民スポーツ振興のため、スポーツの実技指導・助言や各種スポーツイベントの運営・補助等を行うスポーツ推進委員の活動を推進する。	○スポーツ推進委員費 955,841円 ・令和7年度スポーツ推進委員数 16人 ・スポーツ推進委員派遣回数 48回 延べ派遣人数 140人 ・スポーツ指導受講者数 344人 各種教室やイベント等へ派遣し、運動指導やニュースポーツの体験を実施し、住民の運動習慣の定着や世代間交流の促進、スポーツの関心の向上など、地域における自主的な健康づくりやスポーツ活動の活性化を図った。
				○田沢湖マラソン大会負担金 市民の健康増進、誘客による地域活性化を図るため開催する。	○田沢湖マラソン大会負担金 18,450,000円 ・第38回田沢湖マラソン 令和7年9月21日（日）開催 エントリー人数 3,370人 前年に比べ参加者数が増え、市民の健康増進、地域活性化を推進した。
				○スポーツ協会事業費補助金 各種競技団体の組織体制確立や活動を通じたスポーツの普及振興及びスポーツ環境の整備・拠点づくりを促すため、スポーツ協会への支援を行う。	○スポーツ協会事業費補助金 3,259,000円 ・令和7年度スポーツ協会会員数 1,081人 ・加盟団体数 27団体 ・主催事業数 4事業（会議数3回） 仙北市スポーツ賞をはじめ、仙北市陸上競技大会や市民スキー大会、異世代間交流事業としてミニテニス教室を開催し、スポーツの普及振興を行った。
				○スポーツ少年団本部補助金 子どもたちが安全に楽しくスポーツ活動ができる環境を整備するため、スポーツ少年団への支援を行う。	○スポーツ少年団本部補助金 1,800,000円 ・仙北市スポーツ少年団 21単位団 392人 ・大会派遣費 7件 各種競技上位大会出場時や全国スポーツ少年大会へ出場の際に、大会派遣費補助金を交付し、スポーツ少年団の育成に取り組んだ。
				○全日本スキー技術選手権大会補助金 全日本スキー技術選手権大会に対し補助金を交付する。	○全日本スキー技術選手権大会補助金 5,000,000円 ・参加選手 423人 ・スキー場入場者数（3/4～3/8） 9,153人（前年同期比204%） 大会の開催により、仙北市、たざわ湖スキー場のステータス並びにプレゼンスの向上による地域の活性化に努め、大会期間、大会前の事前合宿及びメーカー合宿など当初宿泊申込予定の宿泊数は下回ったものの、エリア一帯の経済効果の波及が図られた。
				○天皇賜杯全日本軟式野球大会補助金 天皇賜杯第80回全日本軟式野球大会の運営に係る補助金を交付する。	○天皇賜杯全日本軟式野球大会補助金 600,000円 県内8会場で開催され、全国から参加した役員、選手により親睦や交流が図られた。また、開催地等では一定の経済効果の波及が図られた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○社会体育施設管理運営事業 市民が誰でも気軽に安心してスポーツに親しむことができる環境を整備し、かつ機能の充実を図るため、市内各施設において必要な改修、整備を行う。	○社会体育施設管理運営費 37,023,084円 ・市民体育館管理運営費 6,511,003円 ・武道館管理運営費 1,362,812円 ・市民野球場管理運営費 669,431円 ・馬術競技場管理運営費 2,105,603円 ・落合運動施設管理運営費 9,817,649円 ・健康増進施設管理運営費 2,330,572円 ・生保内公園運動施設管理運営費 8,932,073円 ・玉川河川公園管理費 5,293,941円 施設の改修や、維持管理を行い、安心してスポーツを楽しむことのできる環境整備に努めた。
				○給食材料費 小学6年生、中学3年生を対象に、思い出に残る特別な給食を実施。通常の給食費に一人当たり324円を加えて実施する。	○給食材料費 96,023,533円 ・スペシャル給食（卒業児童生徒対象） 110,484円 ・ 2月27日 角館小学校 64人 ・ 2月20日 生保内小学校 31人 ・ 12月17日 神代小学校 29人 ・ 1月23日 西明寺小学校 25人 ・ 2月 6日 桧木内小学校 13人 - 計 162人 ・ 12月19日 角館中学校 81人 ・ 12月16日 生保内中学校 26人 ・ 12月11日 神代中学校 30人 ・ 2月25日 西明寺中学校 32人 ・ 12月23日 桧木内中学校 10人 - 計 179人 - 合計 341人 卒業を控えた児童生徒へお祝いの意味を込めて特別感のある学校給食を提供することで、学校生活の思い出作りに寄与した。

11 款 災 害 復 旧 費 1 項 農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
1, 174, 476, 000	175, 016, 749	997, 309, 000	2, 150, 251	○農業用施設災害復旧事業費 令和7年8月の豪雨災害で被災した農地・農業用施設の現況復旧を行う。	○農業用施設災害復旧事業費 7, 649, 411円 ・大地田農村公園復旧修繕費 2, 372, 029円 ・農地・農業施設災害復旧費補助金 3, 662, 000円 農地及び農業用施設の復旧により、被災農業者の営農開始が実現した。
				○現年補助災害復旧事業費 令和7年8月の豪雨災害で被災した農地・農業用施設の現況復旧を行う。	○現年補助災害復旧事業費 46, 824, 210円 ・農地・農業施設査定設計業務委託 42, 688, 800円 農地及び農業用施設の復旧に必要な査定用設計業務委託を実施したことにより、被災農業者の営農開始を促進した。
				○林業施設災害復旧事業費 令和7年8、9月の豪雨災害で被災した林道施設の現況復旧を行う。	○林業施設災害復旧事業費 20, 484, 200円 ・林道施設災害復旧測量設計業務委託 20, 484, 200円 林道施設の復旧に必要な設計業務委託を実施したことにより、森林整備の開始を促進した。
				○現年補助災害復旧事業費 令和7年8、9月の豪雨災害で被災した林道施設の現況復旧を行う。	○現年補助災害復旧事業費 98, 619, 928円 ・林道施設災害復旧測量設計業務委託 98, 340, 000円 林道施設の復旧に必要な査定用設計業務委託を実施したことにより、森林整備の開始を促進した。

11 款 災 害 復 旧 費 2 項 公 共 土 木 施 設 災 害 復 旧 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
354, 779, 000	111, 271, 400	242, 842, 000	665, 600	○現年補助公共土木施設災害復旧事業費 令和7年8月の大雨災害で被災した道路及び河川の現況復旧を行う。	○現年補助公共土木施設災害復旧事業費 71, 033, 600円 ・道路災害査定積算資料作成業務委託（2件） 1, 012, 000円 ・河川災害査定積算資料作成業務委託（2件） 1, 210, 000円 ・道路災害測量設計業務委託（2件） 9, 944, 000円 ・河川災害測量設計業務委託（2件） 21, 758, 000円 ・道路災害復旧工事（1件 前払金） 5, 258, 000円 ・河川災害復旧工事（応急工事）（2件） 31, 851, 600円 土木施設の復旧により、市民・地域の安全安心の確保に努めた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
				○公共土木施設災害復旧事業費 令和7年8月の大雨災害で被災した道路及び河川の現況復旧を行う。	○公共土木施設災害復旧事業費 16,283,300円 ・舗装復旧修繕（6件） 11,088,000円 ・鳥屋森橋高欄応急復旧修繕 205,700円 ・護岸修繕（3河川） 3,830,200円 ・流木・塵芥撤去作業委託 594,000円 ・側溝土砂撤去作業委託 565,400円 ○公共土木施設災害復旧事業費【繰越明許】 18,201,500円 ・小杉沢川災害復旧工事 18,201,500円 土木施設の復旧により、市民・地域の安全安心の確保に努めた。
				○河川公園災害復旧事業費 令和7年8月の大雨災害で被災した河川の現況復旧を行う。	○河川公園災害復旧事業費 5,753,000円 ・桜並木公園土砂撤去作業委託 1,287,000円 ・桧木内川河川公園土砂撤去作業委託 946,000円 ・桧木内川河川公園高水敷埋め戻し業務委託 3,520,000円 土木施設の復旧により、市民・地域の安全安心の確保に努めた。

11 款 災 害 復 旧 費 3 項 公 共 施 設 等 災 害 復 旧 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
47,043,000	46,381,280	0	661,720	○総務施設災害復旧事業費 令和7年8月の大雨災害で被災した総務施設（紙風船館）の現況復旧を行う。 令和7年8月の大雨災害で被災した内陸線駅前の現況復旧を行う。	○上桧木内出張所分事業費 40,460,970円 ・紙風船館設備修繕 532,400円 ・紙風船館復旧工事 39,842,000円 ・紙風船館備品購入（消火器） 86,570円 総務施設の復旧により、市民・地域の安全安心の確保に努めた。 ○まちづくり課分事業費 5,920,310円 ・内陸線羽後中里駅前施設復旧業務委託 191,400円 ・内陸線左通駅前施設復旧業務委託 165,440円 ・羽後中里駅駐車場舗装復旧工事に係る境界復元・立合業務 92,070円 ・上桧木内駅前施設復旧工事 500,500円 ・上桧木内駅舗装復旧工事 2,541,000円 ・羽後中里駅前施設駐輪場設置工事 832,700円 ・羽後中里駅舗装復旧工事 1,597,200円 内陸線駅前施設・駐車場・駐輪場の復旧により、市民・地域の安全安心の確保に努めた。

11 款 土 木 費 4 項 秋田内陸縦貫鉄道災害復旧費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
10,500,000	10,500,000	0	0	○秋田内陸縦貫鉄道災害復旧費 令和7年8月の大雨災害で被災した秋田内陸線の現況復旧にあたり、国・県・市で負担割合に基づき協調補助を行う。	○秋田内陸縦貫鉄道災害復旧費 10,500,000円 ・秋田内陸縦貫鉄道災害復旧費補助金 10,500,000円 秋田内陸線の復旧により、市民が生活を維持する上で重要な交通路線を確保した

(2) 国民健康保険特別会計（事業勘定）

1 款 総 務 費 2 項 徴 税 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
16,184,000	15,170,548	400,000	613,452	○賦課徴収費 国民健康保険税の賦課・徴収に係る事務を、電算システムを活用して適正かつ効率的に行う。	○賦課徴収費 5,612,458円 ・税務システム大量出力業務委託 4,269,100円 適切かつ効率的な賦課・徴収に寄与した。

5 款 保 健 事 業 費 2 項 保 健 事 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
7,539,000	6,036,514	0	1,502,486	○人間ドック助成費 国民健康保険被保険者の人間ドックに係る費用の一部（上限21,000円）を助成する。	○人間ドック助成費 3,171,000円 ・人間ドック受診者数 151人 ・助成費 @21,000円×151人 3,171,000円 令和6年度の実績が145人であったのに対し、令和7年度は151人の実績であった。

(3) 国民健康保険特別会計（神代診療施設勘定）

2 款 医 業 費 1 項 医 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
7,036,000	5,677,385	0	1,358,615	○医業費 公衆衛生の向上及び増進に努める。	○医業費 5,677,385円 ・診療日数 189日 患者数 3,855人 1日平均 20.40人 令和6年度患者数 4,097人 令和7年度患者数 3,855人 △242人 患者数は減少しているが、地域における医療の確保、健康の保持・増進に寄与している。

(4) 後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計

1 款 総 務 費 2 項 徴 税 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
3,430,000	3,084,005	0	345,995	○賦課徴収費 国民健康保険税の賦課・徴収に係る事務を、電算システムを活用して適正かつ効率的に行う。	○賦課徴収費 2,872,738円 ・税務システム大量出力業務委託 1,646,150円 適切かつ効率的な賦課・徴収に寄与した。

(5) 介 護 保 険 特 別 会 計

1 款 総 務 費 1 項 施 設 管 理 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
423,095,000	419,604,040	0	3,490,960	○一般管理費（老健にしき園） 利用者が安全に快適にサービスを受けられるよう施設や機器の維持管理を行う。	○一般管理費（老健にしき園） 119,207,537円 ・にしき園照明器具LED化更新工事（第2期） 21,780,000円 ・施設管理機器・備品修繕 5,389,271円 ・機械類保守点検等業務委託 12,355,007円 ・介護システム、送迎車両等賃借料及び使用料 5,763,659円 施設・設備等の修繕や更新により、利用者が安全・快適に過ごすことができ、介護従事者の負担軽減にもつながった。
				○にしき園DX推進事業費 施設職員の疲労軽減と作業効率の向上に繋げ、入所者により手厚いケアを提供する。	○にしき園DX推進事業費 2,676,197円 ・ヘルスケアDX拠点化維持管理業務委託 2,257,200円 ・トナー等需用費及びDX関係備品購入費 371,741円 ・使用料及び賃借料 47,256円 DX化により職員の情報連携や共有がスムーズに行われ、入所者に対する介助時間をより多く確保する事ができた。

2 款 サービス事業費 2 項 施設サービス事業費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
92,576,000	87,655,581	0	4,920,419	○利用者サービス事業費（老健にしき園） 入所利用者個々のサービス計画に基づき、介護や健康管理、リハビリ等に努め、在宅復帰等地域のニーズにあったサービスを行う。	○利用者サービス事業費（老健にしき園） 87,655,581円 ・紙おむつ等介護用品費 9,322,116円 ・医薬品代 11,652,301円 ・給食業務委託 57,051,337円 ・寝具等賃借料 2,953,368円 ・入所利用者数 33,744人/年 1日平均 92.45人 （内短期入所者数 83人/年 1日平均 0.23人） 入所利用者の心身機能の維持・回復、家庭介護の負担軽減に寄与した。

(6) 生保内財産区特別会計

4 款 諸 支 出 金 3 項 繰 出 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
5,527,000	5,471,000	0	56,000	○一般会計繰出金	○一般会計繰出金 5,471,000円 ・農林業振興資金運営費分 14,000円 ・農林業振興資金利子補給費分 112,000円 ・生保内地域水利確保用電気料分 75,000円 ・土地情報システム使用保守料分 568,000円 ・地域振興事業費補助金分(2件) 1,064,000円 ・集落支援事業費補助金分(4件) 600,000円 ・集落会館改修費補助金分(2件) 1,618,000円 ・田沢湖斎場修繕費補助分 460,000円 ・下高野地区桜剪定業務補助分 560,000円 ・黒森展望台床板修繕費補助分 120,000円 ・上武蔵野児童公園桜伐採事業補助分 280,000円 各種事業に繰出することにより、財産区地域住民の福祉の向上に寄与した。

(7) 田沢財産区特別会計

3 款 財 産 費 2 項 造 林 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
8,935,000	8,077,283	0	857,717	○直営造林保育費 適切な保育管理を行い、良質材の生産に努める。	○直営造林保育費 3,765,477円 ・潟前地区育成天然林改良 3.00ha 2,986,500円 地域住民の要望に応じて、天然林改良として薪材及びほだ木の生産を実施し、地域住民の福祉の向上に寄与した。
				○森林整備センター造林保育費 森林の持つ公益的機能の重要性が叫ばれる中、適正な保育管理を行い、水源林の造成に努める。また、森林の適正な保育管理を行うため、作業道を整備し効率的な作業に努める。	○森林整備センター造林保育費 4,311,806円 ・大深I造林地下刈(1) 14.77ha 4,214,100円 森林整備センターの管理計画により、適切な保育管理を実施した。

4 款 諸 支 出 金 2 項 繰 出 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
906,000	853,000	0	53,000	○一般会計繰出金	○一般会計繰出金 853,000円 ・農林業振興資金運営費分 14,000円 ・農林業振興資金利子補給費分 20,000円 ・地域振興事業費補助金分（1件） 535,000円 ・茶立ての清水修繕費補助分 284,000円 各種事業に繰出することにより、財産区地域住民の福祉の向上に寄与した。

（8）雲 沢 財 産 区 特 別 会 計

3 款 財 産 費 1 項 財 産 管 理 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
3,507,000	3,241,686	0	265,314	○造林保育事業費 森林資源の質的充実に向けた森林環境整備の促進を図る。	○造林保育事業費 3,241,686円 ・下延明通り地内搬出間伐業務委託 2,988,700円 角館町下延明通り地内 6.48ha 搬出間伐事業を実施し、森林資源の質的充実に向けた森林環境整備を促進した。